MYU GUIDE 2024

宮城大学 大学案内 2024

Contents

MYU TOPICS
Mission, Philosophy, History
President's Message
Freshman Core Classes
Department Studies
School of Nursing
Nursing
School of Project Design
Business Planning
Regional Sciences
Value-Creating Design
School of Food Industrial Sciences
Integrative Studies of Plant and Animal Production
Food Science and Business
Global Exchange
Graduate School
MYU CAMPUSES
OPEN CAMPUS 2023
Routes to Campuses

世界が大きく揺れ動き，地球規模の課題に誰もが向き合わざるを得ない時代。
その解決の糸口となり得る地域での取り組みが今，注目を浴びています。
宮城大学では開学以来，世界情勢の変化に対応しながら
グローバルな視点で社会の発展に貢献できる人材の育成に取り組んできました。
看護，事業構想，食産業，それぞれの専門領域への深い知識を蓄えることにとどまらず
領域を横断しながらまだ答えのない問題に立ち向かう挑戦心と創造性を育み
多様性を受け入れ共創する上で欠かせない総合的な人間力を養うための
基礎的，専門的な学びの場と実践の機会を用意してあなたを待っています。
地域から発する光が集まり，混迷の先にある明るい未来を照らしていく。
その一筋の光を宮城大学で，共に創り出していきましょう。

Contents

03 MYU TOPICS
11 建学の精神・大学の理念・沿革
12 学長メッセージ
13 フレッシュマンコア
17 学群・学類での学び
18 看護学群
19 看護学類
24 事業構想学群
25 事業プランニング学類
29 地域創生学類
33 価値創造デザイン学類
38 食産業学群
39 生物生産学類
43 フードマネジメント学類
47 国際交流・海外ネットワーク
48 大学院
データ（学生数／入学金・学費・奨学金）
49 キャンパス紹介
50 オープンキャンパス2023・アクセス

MYU TOPICS

2022–2023 / MIYAGI UNIVERSITY TOPICS　みなさんにお届けしたい，宮城大学の旬な話題をご紹介します。

TOPICS 01

東北に新しいデザインの拠点を，地域に開かれた共創の場 デザインスタディセンター

デザインを通して，新しい価値をどう生み出していくことができるか。流動的で不確実な時代において，あるべき社会の未来を構想し，そこに生じる課題を創造的に解決することができる高度なデザイン人材が求められています。宮城大学では 2020 年度よりデザインスタディセンターを構想し，学生や教職員，地域のクリエイターや企業，自治体職員が集い，共に学び，プロジェクトを展開する共創的な教育研究の場を構築しています。

2022 年度は「(ロゴ) デザインのプロセス」「肉の未来」「地域文化の再構築と発信」をテーマとした 3 つのスタジオを開講。社会の第一線で活躍する実務家をゲストに招いた実践的なプログラムを展開しました。また，グッドデザイン賞受賞者による公開イベント，オウンドメディアによる情報発信などを通して，デザインを切り口に『総合的に考え，つくる力』を醸成する発展的な学びを発信しています。

TOPICS 02

地域の人々と共に 課題解決ができる人材の育成を コミュニティ・プランナープログラム

地域本来の良さを活かしたコミュニティづくりの技能を修得するため，地域の現場を実際に触れ，見て・聞き・体験して学修するコミュニティ・プランナープログラム。2022 年度も学生チームが様々な企画を展開しました。蔵王町では，蔵王産の梨を使ったフルーツサンドを開発し蔵王産業まつりで実際に販売した他，利府町では子育て世代が楽しめる企画として宮城県県民の森を散策する自然観察ウォークラリーを開催。柴田町では，船岡地区の地域資源や魅力をとらえ，町に対し住民参加イベントを提案しました。また，これまで作成してきた「村田町まちあるきマップ」や「名取市みちのく潮風トレイル Guide Map」を自治体に贈呈するなど積極的な交流を行いました。

TOPICS 03

グローバルに活躍できる 人材を育てる 2 つの海外研修プログラム

将来グローバル人材となる自信を醸成し，語学や異文化に対する自律的な学びを促進するため，2022 年度に 2 つの海外留学プログラムを実施（再開）しました。「海外フィールドワーク研修」は協定校である米国・デラウェア大学協力のもと，約 1 か月間，語学力の向上とフィールドワークを通して多文化に触れることができるプログラムです。「リアル・アジア（オーストラリア）」は，渡航前の事前研修の中で SDGs をテーマとした様々な課題を見つけ，協定校である豪国・サザンクロス大学協力のもと約2週間オーストラリアに滞在し大学構内やホームステイ先で過ごす中で課題解決のための仮説を検証していく PBL（課題解決型学習）型の海外研修プログラムです。

TOPICS 04

クローバーウニ・パプリカウニ
ウニの陸上養殖実現に向けた
技術開発と実証実験

全国の沿岸部では，大量発生したウニにより海藻類が食べ尽くされる「磯焼け」現象が起こり，餌不足により「痩せウニ」が増加する深刻な問題が生じています。生物生産学類の片山亜優准教授は，新たな「餌」としてクローバーなどのマメ科植物を利用する「クローバーウニ」の技術開発や，未利用であったパプリカの葉を使った「パプリカウニ」の技術開発に成功。研究機関や自治体・企業と連携し，低コストで持続可能な陸上養殖の実用化・事業化に向けた取り組みを継続しています。また，子どもたちが実際にウニなどの生物と触れ合い，海の生物の魅力や環境との関わりを知る「ウニにさわろう」観察イベントも実施。地域の水産業の発展に貢献しています。

TOPICS 05

お茶の井ヶ田 × おもちサークル
限定商品「十日もち」リニューアルし販売

もち食文化を持つ仙台・宮城で，おもちをテーマに活動する太白キャンパス「おもちサークル」が，お茶の井ヶ田株式会社と共に限定商品「十日もち」のリニューアルを行いました。「十日もち」は，大福に抹茶や桜餡など季節に応じたクリーム等をたっぷりとかけた数量限定スイーツです。学生たちは，若い世代にも受け入れられるよう，食べ歩きに適したパッケージや，ひと目で商品がわかる特徴的なロゴをデザインしました。

TOPICS 06

泉パークタウン「寺岡 Knots」オープン
産・学・民連携による参加型まちづくり

多世代交流をテーマとした泉パークタウンの交流拠点「寺岡 Knots」が2022 年にオープン，施設リニューアルにあたり三菱地所と宮城大学がワーキングチームを結成し，地域の方々と意見交換を行いながら企画しました。有志の学生たちが参加し，施設名称・ロゴ・テーブルのデザインや，地域の小学生向けの交流イベントの企画・運営，ショッピングエリアのイベントでパフォーマンスを行うなど積極的な活動を展開しています。

TOPICS 07

新澤醸造店 × 宮城大学
大学生の純米大吟醸［宮城大学］
国際コンクール金賞２冠

発酵・醸造技術の研究に取り組む金内誠教授の指導の下，フードマネジメント学類の学生たちが新澤醸造店と制作した「大学生の純米大吟醸［宮城大学］」が，スペイン酒類国際コンクール CINVE2022 で Gold（金賞），アジア最大級の国際日本酒コンクール Oriental Sake Awards においても金賞に輝きました。この酒造体験は伯楽星・愛宕の松の醸造元，新澤醸造店・新澤社長の「宮城大学の学生たちに日本伝統的な醸造物・清酒に興味を持ってもらいたい」という熱い思いを受け 2015 年から始まりました。これまで 80 名を超える学生が参加し，１カ月の間清酒工程を本格的に体験します。本物志向の品質で醸した綺麗で清々しい「食中大吟醸酒」です。

TOPICS 08

富谷市「とみやど」における
持続可能なまちづくりと
震災復興から学ぶまちづくり

富谷宿観光交流ステーション「とみやど」は，地域の歴史的な資源や富谷市の魅力を活かした観光と，起業・創業の実践・チャレンジをサポートする交流拠点です。地域創生学類の佐々木研究室・風見研究室と富谷市が連携し，その構想段階から住民が参加する新しいスタイルのまちづくりが行われました。また，両研究室による著作「復興から学ぶ市民参加型のまちづくり（全３部作）」は，東日本大震災の復旧・復興の過程で被災地において実践されてきた数多くの挑戦的な取り組みとそのプロセスを一般の読者にもわかりやすくまとめたものです。この２つの業績は高く評価され，日本環境共生学会 2022 年度学会賞にて環境活動賞・著述賞の２冠に輝きました。

TOPICS 09

「宮城大のサラダボウル」チームが優勝！
第 60 回宣伝会議賞 - 学生チーム対抗企画

広告表現のアイデアを競う「第 60 回宣伝会議賞」，キャッチコピーの一次審査通過本数を競い合う学生対抗企画で，事業プランニング学類の 3 年生 8 名が仲間と共に激戦を乗り越え，参加 49 チーム中 1 位の成績で優勝しました。学生たちはキャッチコピーを考案するのは初めてでしたが，過去の受賞作や優れた事例を分析し，チームで共に学び，ディスカッションを重ねることで「より納得のいくコピー」をつくり上げました。

TOPICS 10

議論のプロセスを効率的・効果的に
合意形成アプリ「TACHI-NO-VOICE」

地域創生学類の齋藤愛果さんが提案した「TACHI-NO-VOICE」は，震災における復興過程やまちづくりなどの合意形成の場面で，より効率的・効果的に議論のプロセスを進めるためのファシリテーションサポートシステムです。平時・非常時問わず，行政のみでなく個人レベルでも簡単に使用することができ，東北総合通信局 SPARK 東北など複数のビジネスコンテストで評価され多数の賞を受賞しました。

TOPICS 11

山，川，海の環境が
美味しい海苔をつくる
海苔の絵本を三上教授が監修

生物生産学類の三上浩司教授は，宮城県産海苔のトップブランド化を目指して，海藻の生き様を解明し応用する研究に日々取り組んでいます。福音館書店より発売された「かがくのとも 2023 年 1 月号『のり』」は，海苔漁師への時間をかけた取材に基づき，日常の食卓にあって当たり前となっている海苔がどのようなものなのか，どのように作られているのかを丁寧に伝える絵本であり，三上教授が内容・文章を約 1 年かけて監修しました。近年の地球環境変動の影響により，日本の海苔養殖は大きなダメージを受け生産量は年々減少しています。美味しい焼き海苔になるまでを描くことで，こどもたちに環境保全・保護の必要性を伝える一冊となっています。

TOPICS 12

大崎市 × 宮城大学
市民ギャラリー「緒絶の館」で
体験型メディアアートを展示

大崎市との連携事業として，大崎市民ギャラリー「緒絶の館」にて体験型のメディアアート作品を展示しています。2021 年度には価値創造デザイン学類の鈴木研究室が 6DoF トラッキング技術や 3D ゲームエンジンを用いて開発した「おばけみっけ!てらして さがして かくれんぼ」を，2022 年度には同学類の学生たちが企画・制作した「ゆらめくあわい」を開催しました。学生たちは作品の制作だけでなく，展示会の企画や広報，運営にも主体的に取り組み，授業で習得してきたデジタルメディアに関する知識や技術を活用しながらデザイン力を実践的に研鑽しました。毎年 2 月末に開催する展示会では，子どもからお年寄りまでたくさんの方に楽しんでいただいています。

TOPICS 13

宮城大生 3 グループが登壇
宮城の魅力発見企画をプレゼン
宮城県制 150 周年記念式典

宮城県誕生 150 周年を記念して募集された，「宮城の魅力発見!」活動企画では，総勢 21 グループの応募のうち宮城大学の 3 グループが選定されました。宮城県制 150 周年記念式典において各グループが活動成果を発表。AKIU 女子会@大嶋研究室は「#AKIU ギャップ萌え計画〜私たちが伝える秋保の新たな魅力〜」として，新たな土産品（琥珀糖）開発・SNS 運営・オンライン交流会の企画を紹介。地域資源マネジメント研究室は「みやぎ “アイスる” プロジェクト -MIYAGI Gelato-」として地場産品を活用したジェラート開発を紹介し，チーム ZUUU んだ〈匠〉（マーケティングゼミ）は「みやぎまるごと myuseum 計画」として，栗原の観光資源を PR する VR コンテンツについて紹介しました。

TOPICS 14

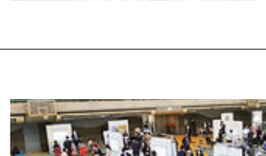
JICA× 宮城大学 地域と開発途上国を繋げ “グローカル人材”を育成するプログラム

国際協力事業を推進する JICA 東北と連携したプログラムが看護学群・事業構想学群で展開されています。「母子保健実施管理コース」は，アフリカ地域 6 か国の母子保健分野の研修員 10 名が仙台に滞在し，看護学群での講義やフィールドワーク等を通して，母子保健上の課題解決に取り組むための知識を身につける研修です。事業構想学群の学生を対象とした「宮城大学・JICA 連携グローカル・プログラム」は，国内外の地域社会で必要とされる問題発見・問題解決力を身につけるため，地域（ローカル）と開発途上国（グローバル）を繋げて学習・交流・協働するプログラムです。

TOPICS 15

高校・地域に「身近な大学」を目指して 宮城大学の高大連携プロジェクト

宮城大学では 2019 年度に高大連携推進室を設置し，地域に貢献する人材を育成するため高校と大学の連携強化を進めています。高校生が大学での深い学びを体験するアカデミック・インターンシップや，高校における「総合的な探究の時間」の充実を図るための大学教員による指導支援，高校と大学の教員がそれぞれの立場で意見を交わす高大連携事業協議会等を展開。これらは，高校と大学が相互に学び指導力を高める高大連携の取り組みとして，文部科学省「令和 3 年度大学入学者選抜における好事例」に選定され，他大学の模範となるものとして評価されました。



TOPICS 16

学生に寄り添った幅の広いキャリア教育を 企業・団体による合同業界研究セミナー

合同業界研究セミナーは，学生自らが個性や適性に応じた職業を選択できるよう，企業・団体の人事担当者やそこに所属する本学卒業生等が職業観や勤労観など，その業界や企業・団体に関する話題を紹介するセミナーです。2022 年度のセミナーは対面とオンラインのハイブリット形式で開催，宮城県内をはじめ東京・関東圏からも各業界を代表する 85 の企業・団体が参加し，延べ 1000 名を超える学生がブースごとに説明を受けました。キャリア・インターンシップセンターでは，このような幅広く業界や企業・団体の研究ができる機会を提供し，キャリア教育の実践に取り組んでいます。

TOPICS 17

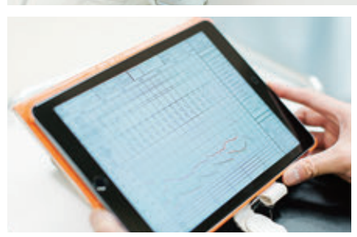
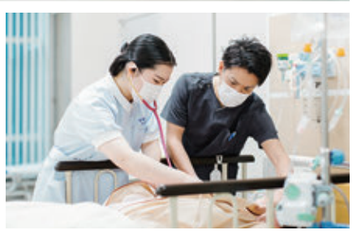
3 学群それぞれの分野で デジタル技術を活用した DX 教材の開発を推進中

看護学群では地域医療・看護の質向上のため，360°コンテンツなど DX 教材を用いた教育をスタートしています。臨地実習と連動し補完する第 3 の学習の場としての仮想地域「MYU-TOWN」には，住民の家や，地域のケアセンター，病院，学校などがあり，生活環境や様々な施設などより実環境に近い場が作り出されています。事業構想学群と食産業学群では，VR コンテンツの作成・活用や，農業と園芸事業におけるドローンの活用，SONY の IoT ツール MESH を使ったプログラミング学習などを体験する社会人や高校生向けのワークショップを実施。地方において「新たな価値創出」を生み出すため，DX 技術に実際に触れる教育プログラムを試行しています。

TOPICS 18

臨地と“連動”して学ぶ 応用的な看護教育の実践 新しい看護学群スキルスラボ

近年の医療は，病院のみでなく療養型の施設や在宅での継続療養など，様々な環境で切れ目ない看護の実践が求められています。地域全体での看護の連携と，アフターコロナでも通用する看護教育を目指し看護学群「スキルスラボ」をオープンしました。スキルスラボは，高度医療を提供する病院や小児から老年，在宅看護の学修に必要な各種医療機器に加えて，教育用電子カルテやウェブ上の仮想地域 MYU-TOWN 教材も活用し，高度なシミュレーションが可能な臨地実習と連動し学修できるリアリティのある臨床環境です。これまでのナーシング・ラボと合わせ，学生のみでなく，実務に従事している看護師の学び直しにも大いに役立つと考えられます。

ホスピタリティとアメニティの究明と実現

Mission

建学の精神

快い生活環境（アメニティ）に身を置き，
心温まる人間関係（ホスピタリティ）に
囲まれていることは成熟社会に生きる万人の願いであり，
このような地域社会を実現させるために
「ホスピタリティとアメニティの究明と実現」を目指す。

この建学の精神に則り，宮城大学では，社会の要請に応えるために
関連するあらゆる学問や技術の成果を総合化する「高度な実学」
に基づく教育研究を推進することとし，次のように大学の理念を定める。

Philosophy

大学の理念

高度な実学に基づき，
豊かな人間性，高度な専門性及び確かな実践力を身につけ，
グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材を育成するとともに，
学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与する。

豊かな人間性
先人たちの考えや相手の価値観を尊重し，
知性と感性を涵養することで自らの人間性を磨いていく。

高度な専門性
関連するあらゆる学問や技術に関心を寄せ，自らの専門性を高め，
時々刻々と変化する社会にしなやかに，かつ，柔軟に対応できる力を身につける。

確かな実践力
地域に根ざし，グローバルな視点で自ら主体的に考え，
強い意志を持って実践していく。

沿　革　History

平 成 5 年	4 月	宮城県企画部県立大学設置準備室設置
	6 月	宮城大学創設準備委員会設置
	7 月	宮城県総合計画の戦略的プロジェクトの一つとして，県立宮城大学の整備を明示
平 成 8 年	12 月	宮城大学条例制定／宮城大学設置認可
平 成 9 年	4 月	宮城大学開学［看護学部・事業構想学部］
平 成 13 年	4 月	宮城大学大学院（修士課程）設置［看護学研究科・事業構想学研究科］
		宮城県農業短期大学 4 年制化基本構想検討委員会を設置
		（宮城県農業短期大学創立は昭和 27 年）
平 成 17 年	4 月	宮城大学食産業学部設置
平 成 20 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［事業構想学研究科］
平 成 21 年	4 月	公立大学法人宮城大学設立
		宮城大学大学院（修士課程）設置［食産業学研究科］
平 成 22 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［看護学研究科］
平 成 25 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［食産業学研究科］
平 成 29 年	4 月	宮城大学学部改組により学群・学類制へ移行
令 和 2 年	6 月	大和キャンパスにデザイン研究棟を新築

地方創生，そして地域からの発信を先導する
実学人材育成拠点として

宮城大学は，1997 年の開学以来，実学を尊重し，実践的な教育を行うことを信条として，社会で即戦力として通用し，社会環境の変化に迅速に対応できる人材の育成に取り組んでいる大学です。なかでも本学の理念の一つである「グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材」の育成は，地方創生が日本再生のキーとなっている現代社会において，ますます重要なミッションとなっています。

その背景としては，地球温暖化や新型感染症によるパンデミックなど地球規模での課題に直面する今日，カーボンニュートラルやネイチャーポジティブなどをはじめとする SDGs の推進，これらを効率的に進める上で欠かせないデジタルトランスフォーメーション（DX）による持続可能でレジリエントな社会の構築が，喫緊の課題となっていることがあげられます。そして，これら課題の解決は，国レベルのみで成し遂げられるわけではなく，地域での取り組みが重要となることです。すなわち世界各地で展開されているスマートシティに見られるように，限られた地域内での成功事例を次第に広げていく過程に，世界は今，あります。地方創生，そして地域からの発信であり，それを担える人材が今まさに求められているのです。

宮城大学は，地域社会の発展と社会イノベーションにとって重要な3つの専門領域，すなわち事業や地域社会，さらにものづくり・ことづくりをデザインし構築する事業構想学群，食材の生産から加工，さらに供給に至る食システム全体を考えて食の未来を開拓する食産業学群，さらに地域でのヒューマンケアに関わる看護学群を擁しています。これら領域での社会的な課題と密接に関連した研究や社会との共創，そしてこれら実学に基づく人材育成を行っています。

大学での学びの土台となる基盤教育は，社会からの要請の変化を捉えて，AI やデータサイエンスへの対応力を高め，また，地域に根づいた人材育成を強化するカリキュラムを導入しています。食産業学群では食資源開発学類を生物生産学類に改組し，第一次産業を再び基幹産業として飛躍させる人材となるよう，スマート化，食農ビジネス，ゲノム育種など学際的で柔軟な学びができる新しいプログラムを導入しています。事業構想学群では，新たな仕事，事業をデザインし開拓していくアントレプレナーシップ教育に力を入れています。看護学群では，地域特性に根差す看護を展開できる人材育成のために，DX 教材である 360°コンテンツを活用した仮想地域「MYU-TOWN」を開発，教育に展開しています。また，都市集中型の超高齢社会で必要とされるテレナーシングに関するリカレント教育も行っています。

宮城大学は，地域課題を解決する研究と社会連携を推進し，これらに基づいた教育により地方創生とその発信を先導しうる人材を育成します。

学長 佐々木啓一

1・2 年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群

フレッシュマンコア［全学群共通：必修］

「フレッシュマンコア」科目で大学での学びの基礎を築きます。

強固な知的基盤の上に専門の学修を積み上げましょう！

技法知	学問知	実践知
リテラシー	知識×考え方	実践力
全ての基盤となる言語スキル，数量スキル，情報スキルを身につけます。	基本的なトレーニングを通して思考力を高めます。	「自己理解」「他者理解」を深めながら実践力を養います。

フレッシュマンコアとは，１・２年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群であり，

全学共通の基盤教育必修科目群です。

豊かな人生を送る上で必要な「技法知」「学問知」「実践知」を養います。

専門分野への学びに繋げていくだけに留まらず，その先を見据え，

自分の未来を切り拓いていくための指針を，

フレッシュマンコアを中核とする基盤教育を通して身につけていきます。

新しくなった「基盤教育」で，明日の姿を見通す力を身につけ，自分の未来を切り拓くための知的基盤を養います

大規模な自然災害や世界的な疫病の流行，ビッグデータや AI を駆使した社会イノベーションなど，私たちを取り巻く世界は，これまでより変動的で，不確実で，複雑で，曖昧な世界になりつつあるようです。私たち一人ひとりが人生を豊かにし，かつ社会全体がより良い方向に向かうためには，各自が将来にわたって「明日の姿を見通す力」を身につけ，自分の未来を切り拓いていくことが大切になります。宮城大学の全学生に向けて開講される基盤教育科目は，「技法知」「学問知」「実践知」を養う基礎となるフレッシュマンコア科目に加え，芸術・人文学，人間科学，社会科学，グローバルコミュニケーション，自然科学などの科目群があり，これまで人類が蓄積してきた「知」を俯瞰し，掘り下げていく科目が開講されています。2022 年度からはカリキュラムが改編され，新しい基盤教育科目がスタートしました。フレッシュマンコア科目の充実を進め，数理・データサイエンス・AI 教育の強化，学群専門科目との接続性の強化，国際感覚を養う科目の新設など，本学の特色を活かした基盤教育の実現を目指しています。これらの「知」は，仕事や生活の一場面で「私（たち）はどうすべきなのか」という決断を迫られ，不安や責任に押しつぶされそうなときに，一歩踏み出す指針と勇気を与えてくれるでしょう。広く深く「知」を探求し，「新しい知」を発見し獲得していくことは，自分の人生を豊かにするとともに，自由にそして強くしなやかに生き抜くコツでもあるのです。

基盤教育群長　平岡善浩教授

幅広く，そして偏りなく，多様な学びを積み重ねていきます。

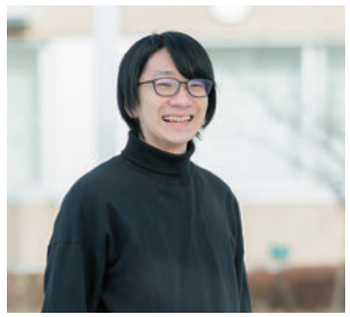
4年間は長いようで，あっという間に過ぎてしまいます。4年後の成長した自分をイメージして大学生活をスタートさせることが重要です。そのためには，受験勉強とは違う大学での学びの作法を身につけることと，自分と社会を見つめることで自分の将来に見通しを持ち，自身の大学での学びの意義づけを自ら行うことが必要です。そのためにフレッシュマンコアがあります。

スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ

宮城大学での学びの基礎を確立する導入科目です。大学の学びに必要な知見やスキルを講義形式で学び，学群ごとの少人数ゼミ形式で演習やグループワークを行い，実践的に身につけます。また，卒業後にも必要な汎用性の高い知見，態度の涵養とスキルの習得を目指し，自分自身の現在・過去・未来につながるキャリアデザインを考えていきます。

コンピューターリテラシー
情報化社会と技術
基礎統計学Ⅰ・(Ⅱ)

現代社会において，AIやビッグデータを活用する知識やスキルは必須となりつつあります。これらの科目は全学必修科目として，その基礎的な理論や技法を，情報科学やコンピューター工学，統計学といった学術的な視点から学んでいきます。道具としてコンピューターやネットワークを使いこなし，様々なデータに対して正しい知識と解析技術をもって妥当な解釈を得る能力を身につけます。



Student Voice

今後の学びの基礎となる知識やスキルを身につける場

基盤教育科目では，今後の学びの基礎となる知識を身につけるための学修に取り組みました。スタートアップセミナーでは，レポートの書き方をはじめ，プレゼンテーションやディベートの方法，ブレインストーミングの発想法などを実践的に身につけることができました。講義では，IT・グローバル化が進む現代に適応するための知識を学びました。2年次以降はフードマネジメント学類へ進み，この学びや気づきを生かし食品に関する微生物の働きについて学びたいと考えています。基盤教育科目で身につけた英語や統計なども，論文やデータを読みまとめる際に生かしていきたいです。

丹澤慶喜さん（食産業学群）　静岡北高校出身

地域フィールドワーク

地域社会について座学を中心に学びつつ，グループ単位のフィールドワークで地域課題の発見とその解決に取り組みます。地域に関する知識やフィールドワーク手法の習得だけでなく，地域社会の将来に対する学生の使命感を涵養し，主体的な学びへと促すことも目的の一つです。

1. 講　義

初回講義では，フィールドワークの位置づけや意義を確認し，訪問時の心構えやマナー等のリテラシーを習得します。

2. グループ演習

事前にヒアリングの練習を実施したうえで，グループ単位で各訪問先を訪れ，ヒアリングとフィールドワークを実施します。

3. フィールドワーク

グループに分かれて，訪問先の方から地域の特徴や見所を解説していただくなど，地域に関する知識や理解を深めます。

4. グループ演習／発表

フィールドワークの背景，目的，調査結果，分析をまとめた成果物を作成し，学生相互に発表して意見交換を行います。

Student Voice

フィールドワークは，実際に見て触れて感じることができる貴重な体験

地域フィールドワークでは，女川町を訪問し，自身の地元と比較して調査・分析を行いました。実際に現地に赴くことで，座学では感じることのできない町の雰囲気や景色の美しさを感じるとともに，地域の方々へのインタビューを通して新たな課題を発見することができました。今後は，事業プランニング学類に進み，経験豊富な教員の元でビジネスや人を巻き込む力を育みたいと考えています。専門性の高い学びが始まりますが，これまでに基盤教育で培ったディスカッション能力や実体験からの学びを大切にしながら自身の可能性を広げ，成長につなげる期間を過ごしたいです。

佐藤那奈さん（事業構想学群）　青森県立八戸北高校出身

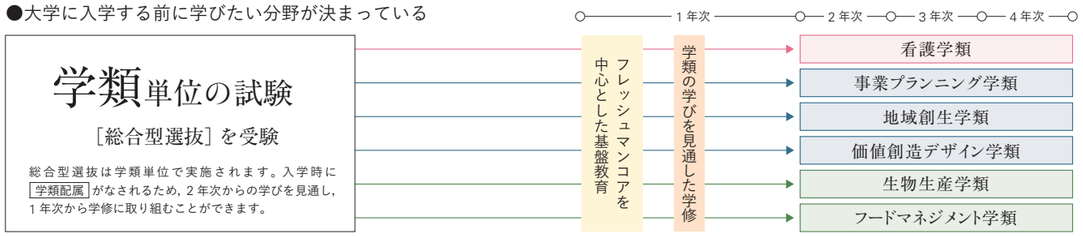
学群・学類での学び

宮城大学では，2017 年度入学者より，学群・学類制による新たな教育を展開しています。このことにより，学類の垣根を越えてバリエーション豊かな専門教育が受けられるようになりました。
また，入学者の募集単位も「学群単位」「学類単位」の２つを設定しています。

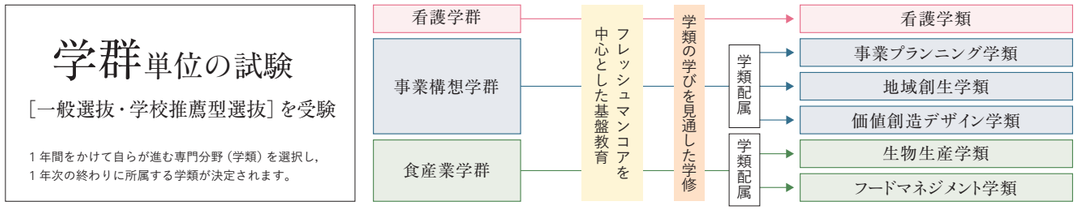
一般選抜と学校推薦型選抜は，「学群単位」の募集となりますので，事業構想学群と食産業学群の学生は，入学後１年間をかけてじっくりと自らが進む専門分野（学類）を選択し，１年次の終わりに所属する学類が決定されます。
（看護学群は１学類のため，全員が看護学類で学ぶこととなります。）

看護学群	事業構想学群	食産業学群
看護学類	事業プランニング学類 地域創生学類 価値創造デザイン学類	生物生産学類 フードマネジメント学類

●大学に入学する前に学びたい分野が決まっている



●大学に入学してから学ぶ分野を決めたい



※看護学群は１学類のため，全員が看護学類で学ぶこととなります。

学類配属について （一般選抜・学校推薦型選抜で入学された方）

所属学群ごとに，学生一人ひとりが自分としっかり向き合いながら，担当教員と一緒に１年かけて考えていきます。
１年次の学修成果（１年次の成績や希望学類に関するレポート，面接等を予定）による選考を行い，学類配属を決定していきます。

オリエンテーション［4 月］	学群・学類による４年間の学びを見通し，学類配属にかかるスケジュールや手続き等について説明します。	**予備調査・面談**［4〜1 月］	希望学類についての予備調査を複数回実施します。予備調査の結果等を踏まえ，担当教員と面談を重ねながら，それぞれの興味や関心に合った専門分野（学類）についての理解を深めていきます。
学類配属ガイダンス［10 月］	前期試験の成績発表を受けて，学類配属についてのガイダンスを実施します。	**希望学類の届出・学類配属の決定**［2〜3 月］	後期試験の成績発表後，２月から３月にかけて希望学類の届出を行います。選考の結果，最終的な学類は３月末までに決定されます。

※スケジュール等は変更になる場合があります。

School of Nursing

看護学群

看護学類 入学定員 95 名

入学者に求める能力

(1) 人や地域社会，看護に関心を持っている人
(2) 人の喜び，苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち，人との関係を大切にできる人
(3) 科学的探究心を持ち，主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
(4) 国の内外を問わず，看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

看護学群は，生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて，科学的思考とマネジメント能力を持ち，ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し，地域の人々，多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格（選択）
- 養護教諭一種免許状（選択）

卒業時に取得できる資格・免許は，「看護師国家試験受験資格」が全員，保健師教育課程を選択した学生は「保健師国家試験受験資格」，養護教諭教育課程を選択した学生は「養護教諭一種免許状」を取得できます。

持続可能な社会を健康の側面から実現する看護人材をはぐくむ

SDGs という言葉をよく耳にする機会が多くなりました。SDGs は Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称であり，今，世界が注目している言葉です。2030 年の達成を目指し，貧困や健康，福祉，環境などの 17 の目標を掲げ，各国で様々な取り組みがなされています。なぜ，「持続可能性」か。これは，これからの時代の環境や社会の安定性への懸念の現れでもあり，多様な人々が，安心して，差別されることなく健康に暮らせる社会を目指し，変化していくことへの期待でもあります。看護は，まさに，人，社会，環境の中にある課題を発見し，健康の側面から暮らしの持続に関わります。人や取り巻く環境が持つ力をエンパワーメントしながら変化を図り，多様な状況にある人が，地域や社会の中で，より健康に，より豊かに生きることを支援します。宮城大学は，看護，事業構想，食産業の３つの学群からなる人の暮らしに関わる学び場です。他分野の学生が共に学ぶ環境の中で，未来に繋がる看護を学びましょう。

看護学群 学群長
高橋和子 教授

看護学類

看護学の基盤となる知識・技術を身につける「専門基礎科目」と，
看護学の専門性を深め，拡げる「専門科目」を学年進行に沿って体系的に配置しています。

国際看護プログラム

国際協力の現場や多様な文化的背景を持つ人々への看護臨床で，関係者と協働した看護実践を行えるための基礎的能力の修得を目指しています。4 年間を通して，外国語やグローバルな視点での健康課題や文化ケアアプローチについて学びます。海外の大学の看護プログラムや国際援助の実際に関する講義等への参加を通して，国際看護の魅力を実感できます。

災害看護プログラム

災害サイクル各期において支援ができる看護職を目指す学生が，災害看護の基礎的知識と技術を身につけるためのプログラムです。学生は学修を進めるにあたり，１年次から学びの振り返りができるポートフォリオを作成しながら，指定された科目を学びます。また，その学びを活かした災害看護関連のボランティア活動を行うことでさらに深い学びが可能です。

看護学群のキャリア支援 学生一人ひとりの自己実現のために，そして看護職として自律した社会人となれるようキャリア支援を行っています。

卒業後の進路

- 病院や施設・地域で働く看護師
- 幼・小・中・高・特別支援学校の養護教諭
- 自治体や企業の保健師
- 大学院や助産師養成校への進学

キャリア教育

4 年次までに学生自身が進路決定できるように，1 年次からキャリア教育を通して学修します。具体的には，1 年次の「スタートアップセミナーⅡ」でキャリアについて学びます。そして，2 年次からの「キャリアガイダンス」，「公務員セミナー」，「養護教諭セミナー」などを通して個々の学生が，自らの適性を考え職業の選択ができる能力を育成します。

就職・進学相談

4 年次はキャリア開発担当教員により，学生が希望する進路について「個別相談」を計画的に行います。また，キャリア開発室の進路指導員による就職試験に向けたエントリーシート作成支援や面接対策など，きめ細かな支援を行います。

国家試験対策

「看護師」「保健師」の資格は，国家試験の合格をもって得られる資格です。4 年次には，定期的に模擬試験とその解説会を行い，学びを定着させます。また，国家試験直前対策として教員による学習会を行うなど，合格に向けてのサポート体制を構築しています。

看護学類

Nursing with a Look to the Future.

看護専門職としての基礎能力を身につけながら，

同時に看護に大切な“豊かな人間性”と“高い倫理観”を育み，

病院はもちろん，地域・在宅等で広く活躍できる看護職へ

豊かな学修環境を最大限に活かして，看護実践力をつけよう

看護は，乳幼児から成人・高齢者と広い年代の人々に必要とされています。病院，在宅，地域，学校等の場で，すべての年代の人への看護には，体と心，発達に関する知識，生活する社会や環境の知識をもって，看護技術を身につけることが大切です。宮城大学では多くの講義と共に，看護技術を習得する臨床現場に近いラボ室，シミュレーターを用い，繰り返しの訓練が可能な学修環境を備えています。さらに，県内各所の保育所，病院，訪問看護ステーション，保健所，高齢者施設等での実習で，看護実践力を身につけます。1年次の講義・フィールドワークでは，広い視野で人や環境を見つめる力と，学生の自己成長力を養い，2～4年次の講義・演習・実習では，看護の専門性を追求します。変化する未来に対応し，成長し続ける看護専門職を目指していきましょう。

看護学群 副学群長
菅原よしえ教授

看護職として社会で活躍できるように，キャリア形成の基盤を総合的にサポート

看護の基本的な技術を学修するためのナーシング・ラボ

看護学類 二瓶里彩さん
福島県立会津学鳳高校出身

Student Voice【学生の声】

Student Voice

実践的学びを土台に多くの人と関わり合いながら，看護の総合力を身につける

宮城大学にはグループワークやディスカッションを行う講義が多く，自分の意見を明確化し発言する力や，他者の意見を尊重する力など，看護職に必要な総合力を身につけることができます。実践を重視する講義では，人と関わりながら物事を柔軟に考えることができることも魅力のひとつです。私は養護教諭教育課程で，看護師に必要な知識のほかに学校保健や教育相談の方法なども学んでいますが，1年次からの実践的な学びが，その後の講義や演習で役立っています。講義ではケースメソッドを通じて時代性を考慮した課題についてアプローチができ，学びの場が広がっています。今後もこの恵まれた環境で向上心を持って学びを深めていきます。将来は看護師と養護教諭の免許を取得し，看護の知識を兼ね備えた養護教諭になることが目標です。

Qualifications【資格取得について】

看護師国家試験合格率（第112回：全国平均95.5%） 99.0%

看護師国家試験受験資格

看護師国家試験を受験することができる資格です。国家試験に合格することで看護師として働くことができます。看護師は多様な場における保健・医療の第一線で活躍し，予防，治療，回復過程にある人々，そして病気と共に生きる人々が，その人らしく生活し，生きることを支える役割を担っています。

保健師国家試験合格率（第109回：全国平均96.8%） 100%

保健師国家試験受験資格

保健師国家試験を受験することができる資格です。保健師は，家庭訪問や健康相談，健診などの各種保健事業により，一人ひとりの健康生活への支援を行います。また，地域の健康データを分析し，健康課題の解決に向けて，地域の人々や関係機関の人々と協働して健康なまちづくりを目指して活動しています。

養護教諭一種免許状

幼・小・中・高等学校・特別支援学校において，児童・生徒の心身の健康管理を行うと同時に，学校の保健教育の担い手にもなっています。いわゆる「保健室の先生」です。

※保健師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状は選択制です。いずれか一方を選択できます。

看護学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期
人間力を高めるための基盤と看護の基盤となる知識を身につける

人間力を高め
広く深く学び続ける力を養成する
●スタートアップセミナー　●地域フィールドワーク
●基礎統計学　●情報化社会と技術
●English Gateway　●生物概論　等

看護学の基盤となる関連科学
看護の基礎的知識
●人間発達学　●看護学原論
●形態機能学　●看護技術論　等

基礎看護学実習　第1段階

2年次 前期
看護の基礎的な専門知識を深め，基礎的実践力を身につける

看護の基礎となる知識や技術
●疾病論　●病態学　●ライフステージ看護学概論Ⅱ　●看護技術各論Ⅱ・Ⅲ　●看護技術各論演習Ⅱ・Ⅲ
●成人看護援助論Ⅰ　●老年看護援助論Ⅰ　○保健行動科学　●地域看護学概論　●看護情報学Ⅰ　等

2年次 後期
基礎看護学実習　第2段階

看護の対象理解や実践的な知識や技術
●栄養学　●疾病論　●看護実践論　●在宅看護援助論Ⅰ　●精神看護援助論Ⅰ
●小児看護援助論Ⅰ　●母性看護援助論Ⅰ　●家族看護論　等

3年次 前期
さまざまな健康レベルや場における対象への看護実践力を身につける

さまざまな健康レベルや場における看護の対象理解や実践的な看護展開
●小児看護援助論Ⅱ　●母性看護援助論Ⅱ　●精神看護援助論Ⅱ　●在宅看護援助論Ⅱ
●成人看護援助論Ⅱ・Ⅲ　●老年看護援助論Ⅱ　●地域看護援助論　●看護マネジメントⅠ　等

3年次 後期
母性看護学実習・小児看護学実習・成人看護学実習・老年看護学実習
精神看護学実習・在宅看護学実習・地域看護学実習・看護マネジメント実習

4年次 前期
看護の専門的・総合的な看護実践力と学際的思考を深める

対象や場に応じた専門的・総合的実践力
●看護マネジメントⅡ
○緩和ケア論　○クリティカルケア論　○救急・災害看護論
○国際比較看護論　○公衆衛生看護活動論　他

目指す看護職像に向けた
自らの課題に応じた学際的探究
●看護学研究法　●卒業研究Ⅰ

総合実習　（※専門領域を選択）

4年次 後期
公衆衛生看護学実習　養護実習

目指す看護職像に向けた専門的・総合的看護実践力と学際的探究力
●卒業研究Ⅱ　○疫学Ⅱ　○災害看護支援論　○公衆衛生看護マネジメントⅡ　他

国際看護プログラム
災害看護プログラム
保健師教育課程　※選択制
養護教諭教育課程　※選択制

キャリア
看護師国家試験受験資格取得
保健師国家試験受験資格取得
養護教諭一種免許状取得
看護学群ディプロマ・ポリシーへの到達＝卒業

進学	看護師	保健師	養護教諭
助産師養成校／大学院／海外活動等	病院／施設／地域	自治体／企業／地域	幼・小・中・高・特別支援学校

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

訪問看護師として「安心」を積み重ねていきたい

公益社団法人宮城県看護協会
青葉訪問看護ステーション
秋葉つぐみさん（2019年3月卒業）

宮城大学に入学したのは，先輩方の充実した学生生活を見たことがきっかけでした。将来の選択肢として必要な，看護師・保健師・養護教諭の資格を取れることも決め手になりました。在学中の授業をきっかけに訪問看護師になり，5年目になります。看護を必要としている人のお宅へ訪問しケアを行う日々の中で，一人ひとりの環境や価値観に臨機応変に対応していくことにやりがいを感じます。利用者さんやご家族と，時間をかけて少しずつ信頼関係を築けたときは嬉しいです。宮城大学の授業や演習は先生方との距離が近く，相談がしやすい環境が魅力です。在学中に学んだ看護学生としての4年間すべてが，今の自分につながっていると感じています。これからも，利用者さんやご家族に安心してもらえるような関係づくりに取り組み，看護を日々を積み重ねていきます。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

看護師	69.8%	東北大学病院 / 東北医科薬科大学病院 /JCHO 仙台病院 /JCHO 仙台南病院 / 国立病院機構宮城病院 / 東北労災病院 / 宮城県立こども病院 / 宮城県立精神医療センター / 東北公済病院 / 仙台厚生病院 / 仙台オープン病院 / 公立黒川病院 / 宮城県看護協会 / 宮城厚生協会 / 西仙台病院 / 北里大学病院 / 川崎市立川崎病院 / 兵庫県災害医療センター / 横浜市立市民病院 / 国立がん研究センター 東病院 / 国立病院機構埼玉病院 / 上尾中央総合病院 / 太田綜合病院 / このえ保育園 /JA 秋田厚生連 / 湘南厚木病院 / 東京ベイ・浦安市川医療センター / 東戸塚記念病院 / 三井記念病院 / むつ総合病院 / 横浜旭中央総合病院 / 横浜市南部病院
保健師	17.7%	宮城県 / 仙台市 / 角田市 / 登米市 / 石巻市 / 栗原市 / 白石市 / 名取市 / 利府町 / 川崎市 / 岩手県
養護教諭	4.2%	宮城県 / 福島県 / 一関修紅高等学校
進学	5.2%	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科 / 仙台医療センター附属仙台看護助産学校 / 福島県立医科大学別科助産学専攻 / 秋田県立衛生看護学院保健科
その他	3.1%	

進路データは，2023年3月31日現在 小数点以下第2位を四捨五入

MYU LEARNING COMMONS

対話的かつ主体的な学びを。新しい学修スタイルに対応するラーニング・コモンズ

大学で「学ぶ」ことは，教員の「Teaching」を受けるのみならず，自ら深めて学ぶ「Learning」を通して達成されます。こうした対話的かつ主体的な深い学び（アクティブ・ラーニング）に授業以外の時間を利用して取り組む空間が，ラーニング・コモンズです。

「スチューデントコモンズ」は，机や椅子を自由にレイアウトでき，軽食をとりながら，規模を問わずミーティング等をいつでも気軽に行うことができます。海外留学や語学試験などの相談もできる「グローバルコモンズ」は，英語をはじめとした語学教材や海外放送，海外雑誌が揃っており，異文化に触れたい人や，留学生に最適の場所です。

「ディスカバリーコモンズ」は，約 13 万冊の蔵書を誇る図書館で，学生同士のミーティングやイベントを開けるスペースです。「データ & メディアコモンズ」には，パソコン学修を想定して各机にコンセントが配置された少人数学修空間「オープンスタディ」，多様な PC ソフトウェアと 3D プリンタが使用できる「デジタルリサーチ」のほか，各キャンパスの学びに合わせたデジタル機器空間や，パソコンの相談ができる「サポートオフィス」があります。

学ぶ意欲のある学生が，学生同士で学びあえる空間がラーニング・コモンズです。目的にあった環境を見つけ，「Learning」のための居場所にしてください。

事業構想学群

事業プランニング学類　入学定員 60 名
地域創生学類　入学定員 60 名
価値創造デザイン学類　入学定員 80 名

入学者に求める能力

(1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き，自ら問題を発掘し，論理的に考え，表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
(2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち，高度な知識とスキルを身につけることによって具体的な行動をともなって地域社会の課題を主体的に解決し，貢献することを目指す人
(3) 事業構想（プロジェクト・デザイン）の分野でイノベーションをデザインすることにより，来るべき社会における新たな展開に貢献することを目指す人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

事業構想学群では，現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え，その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに，地域資源の活用や新たな価値創造を志向し，産業，行政，社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

●簿記検定 ●公認会計士 ●税理士
●技術士 ●防災士 ●中小企業診断士
●ITパスポート試験 ●WEBデザイナー
●建築士 ●インテリアプランナー

社会保険労務士／司法書士／宅地建物取引士／総合旅行業務取扱管理者／基本（応用）情報技術者／統計検定／銀行業務検定／色彩検定／マルチメディア検定／ CG クリエーター／ CG エンジニア／画像処理エンジニア／福祉住環境コーディネーター／認定ファシリティマネジャー 等
※めざせる資格は学類ごとに異なります。

地域の社会・文化に立脚し，世界に繋がる人材育成を目指す「知の拠点」

事業構想学群は，これまでの歴史の中で受け継ぎ発展させてきた生活や社会，文化や環境を守りはぐくみ，未来につなげていくための様々な活動（Project）を実践，創意工夫とともに新たな技術や手法を構築（Design）しながら多様な学びの環境を展開する学群です。事業構想学群には３つの学類があります。私たちの人生を魅力に満ちたものとするための生業を考える「事業プランニング」，賑わいと愛情に溢れた地域社会の創出を思考する「地域創生」，そして私たちの身のまわりの世界の本質を探究し，叡智を結集させた“もの・ことづくり”を学ぶ「価値創造デザイン」。ここで学ぶ学生のみなさんには，学年が進むにつれそれぞれの専門分野に特化した研究・学修を深めていく機会が与えられますが，相互横断的に他の分野の知見を自らの就学の糧として身につけながら行動力のある臨機応変な未来人として成長していけるよう，最善を尽くしていただきたいと思います。

事業構想学群 学群長
中田千彦教授

事業プランニング学類

入学者に求める能力

新たな発想に基づき，実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち，その際に必要となる，情報・データの読解，論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し，新たなビジネスモデルの構築と運営できる能力（事業プランニング力）を育成します。

地域創生学類

入学者に求める能力

多様化・複雑化する地域社会の諸問題に対して強い関心を持ち，その課題解決に向けて思考・分析を行うとともに，地域活性化を目指すまちづくりや産業育成，それを動かす人・組織のデザイン，そして持続可能な環境に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し，地域資源を活用することで新たな地域を創生する能力を育成します。

価値創造デザイン学類

入学者に求める能力

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や，人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や情報コミュニケーションをデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

人間の感性や地域の資源に応じた新しい価値を創造できるサービス・生活環境・製品（ものづくり）を探究創造する能力（価値創造デザイン力）を育成します。

事業プランニング学類

Forge Your Own Path in Business.

潜在化した課題を見通し，ビジネスを思い描き，それをどう具現化するか。

人や組織を巻き込む人間力と，科学に基づく分析力を学び

新たなビジネスモデルの構築と運営できる人材を育てる

ビジネスプランを具現化する

「人間が想像できることは，人間が必ず実現できる」。小説家ジュール・ヴェルヌの有名な言葉です。この言葉，実はプランニングの可能性を示していると私は思っています。サービスやテクノロジーが生み出された瞬間は，その価値が何で，どんな意味があるかは，なかなか理解されません。アイデアの発案者は自分の想像力を信じ，ビジネスプランを描きます。消費者の意見や競合の動きなどを得ることで，ビジネスプランはどんどん洗練されていきます。磨かれたビジネスプランはあなたの言葉に説得力をもたせ，周囲の人間を巻き込んでいくことでしょう。プランニングとは想像を具現化することなのです。そしてこのプロセスこそ〈事業〉プランニングであると考えます。困難な道のりではありますが，我々には学問という叡智があります。どうです?ワクワクしてきませんか?さあ，一緒に学んでいきましょう。

事業プランニング学類 学類長
安藤裕准教授

事業創出に向けて専門領域を深める学び

変化の激しい時代に・新たな価値の創出を　マーケティング

テクノロジーの進化と共に，消費者の価値観も大きく変化しています。これまでの常識が破壊され，新しい事業機会が次々と生まれています。変化の激しい時代に，どのようにして新しい価値を生み出し，支持される商品・サービスを創るのか。本講義では，新たな価値創出に成功した商品・サービス開発のケースを基に，商品開発／価格設定／販売チャネル／プロモーションを軸としたマーケティングの理論と手法の習得を目指します。地域企業にも焦点を当て，世界で認められた東北企業の価値創出についても学びます。

市場競争において合理的に判断する能力を養う　ゲーム理論

ゲーム理論では，市場競争においてどのような戦略を選択すべきか，またどのように利益が得られるかについて分析していきます。たとえば，ある業界で店舗を経営している際に，近隣に競合店が低価格戦略で新規出店してきたと仮定します。この場合，自分自身の店舗は価格や営業時間を変更すべきかなどについて，数理的に検討します。一般に事業の計画立案に際しては，市場の状況を予想して合理的な選択を検討することは必要不可欠であり，これらの分析力は有用なツールの１つとなります。

鈴木夢夏さん
宮城県富谷高校出身

Student Voice

夢を夢で終わらせないための知識や経験を身につける

目標を着実に達成していくための知識や見識を，実務経験豊かな先生方の授業から得ることができます。私は，アルバイトを通じて興味を持った「書店」という存在を後世に残すべく，商学や経営学の視点から，書店における書籍や雑誌の効果的な販売促進の手法について研究しています。

主な学べる分野

経営財務・金融／経営学・組織論／
経営戦略／法学／経済学／
マーケティング／社会システム／
社会調査／ｅビジネス／会計学

MYU Seminars【研究室紹介】

安藤研究室

こころを知ることで社会をより良くする

感性工学，UX，認知科学，心理学。気持ちを科学的に理解する手法を用いて，商品やサービスをより良くする方法を研究します。

高橋修研究室

理論と実践の融合を目指して

企業に関するケーススタディや地元企業を対象としたフィールドワークなどを通して，大学で学んでいる経営理論と企業の経営実践とを結びつけて考えることを重視しています。

内田研究室

利潤追求と社会貢献の一致を探る

倫理のない経済は犯罪，経済のない倫理は戯言と二宮尊徳は説きました。社会変革の実現や継続には，採算性が重要です。正しい人が儲かる事業構想を考察しています。

事業プランニング学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

全学共通科目

1年次 後期

専門基礎科目を学ぶ

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ

［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●事業プランニング基礎 ●地域創生基礎 ●価値創造デザイン基礎

学類配属の決定

2年次 前期

専門基礎科目を学ぶ

ビジネスに関する基礎理論，ビジネスを取り巻く環境を分析する手法を学ぶ

［開講科目例］ ●経営学概論 ●ビジネスモデル論 ●ビジネスコミュニケーション ●ミクロ経済学 ●消費者心理学 ●スタートアップ経営論

2年次 後期

専門科目を学ぶ

事業戦略系科目

新たな事業を創出し，持続可能なものとするための戦略的な手法を学ぶ

［開講科目例］
●ビジネスと情報 ●経営戦略論
●マーケティング ●e ビジネス

事業管理系科目

事業資源を有機的に結びつけ，管理する理論と技術を学ぶ

［開講科目例］
●簿記会計 ●金融論 ●経営組織論
●財務会計 ●経営財務

専門関連科目（他学類の専門科目も学ぶ）

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

3年次 前期

ゼミ選択

専門科目の学びを深める

●販売促進 ●マーケティングリサーチ
●現代企業論 ●ビジネスプロセス論
●管理会計 ●人的資源管理論
●CSR・CSV ●意思決定会計

相互に科目選択可能

3年次 後期

4年次 前期

卒業研究

4年次 後期

グローバル化・情報化する社会の中で新たな事業を創出し，
それらを持続可能なものとするための知識や考え方を持つ人材をめざす

卒業後の進路

- **民間企業**：総合職／専門職等
- **公務員**：国税専門官／地方自治体等
- **経営者**：起業／事業継承士業（公認会計士）等
- **進学**：宮城大学大学院／他大学大学院 海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

大学で学んだマネジメント力で現場を円滑に遂行

株式会社タダノ

佐々木大我さん（2022年3月卒業）

クレーンの国内グローバルメーカーで，生産と営業の調整役を担っています。生産から納車までスムーズに進行・調整し，営業と生産の両部門に配慮しつつ利害をマネジメントするのが仕事です。イレギュラーな事態が発生することもありますが，最適解を見つけ要望に沿えるよう調整できた時に大きなやりがいを感じます。また，企業の抜本的な改善活動にも携われるため，企業マネジメントや自社や競合他社分析といった部分で，在学中に学んだ管理会計や財務会計の知識が大きな武器となっています。今後は，経験を積んでより高い調整能力を培うことをはじめ，自社の改善活動に積極的に参加し，売上目標達成に貢献する改善提案も行っていきたいと考えています。より重要な役割を任せてもらえる存在になり，将来的には入社時から目指している海外業務へも関わることが目標です。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

情報通信業	23.6%	（合）DMM.Com/㈱NTTデータ東北/NECネッツエスアイ㈱/トランスコスモス㈱/㈱アイティ・コミュニケーションズ
製造業	14.6%	オリンパス㈱/トヨタ自動車東日本㈱/東京エレクトロン宮城㈱/㈱パールライス宮城
卸売・小売業	12.7%	キヤノンマーケティングジャパン㈱/イオンリテール㈱/㈱スズケン/㈱大創産業
他サービス業	10.9%	全国健康保険協会/一般財団法人東北電気保安協会/㈱リロードエッジ
公務	9.1%	財務省東北財務局/仙台市/郡山市
建設業	9.1%	㈱ユアテック/東洋建設㈱/仙建工業㈱
生活関連サービス業，娯楽業	5.5%	㈱JTB/㈱LAVA International
金融業，保険業	3.7%	㈱七十七銀行/あいおいニッセイ同和損害保険㈱
学術研究，専門・技術サービス業	3.6%	㈱マクロミル/デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム㈱
電気・ガス・熱供給・水道業	1.8%	東北電力㈱
複合サービス事業	1.8%	みやぎ生活協同組合
教育，学習支援業	1.8%	学校法人東北医科薬科大学
不動産業・物品賃貸	1.8%	東急リバブル㈱

進路データは，2023年3月20日現在 小数点以下第2位を四捨五入

地域創生学類

Creating Sustainable Communities

頻発する災害や人口減少など，地域におけるさまざまな課題をいかに解決していくか。

多様化する社会や価値観の中で，あらゆる地域課題の解決に向けた事業創造や政策立案，

それらの根拠となる科学的分析手法を学び，社会に貢献することができる人材を育てる

地域創生のためのプロジェクト・デザイン

世界の課題をビジネスや政策で次々と解決し，社会を豊かで持続的なものにするために何を学べばよいでしょうか。地域に一歩踏み出すと，直面している問題と原因の関係の複雑さや，人々の考え方や生き方の多様さに衝撃を受けます。地域創生学類では「人・社会・環境」をテーマに，問題解決のための政策やビジネス，プロジェクトについて学び，体験し，地域の創造的発展を探究します。問題を的確に捉え，先を見据え，解決策を提示する高度な能力が求められます。そのために，物事や事象を分解して捉えられる知識とスキルを養います。同時に，向き合いたい地域やモノ・コトに出会い，対話し，実践し，失敗し，また学びましょう。地域との関わりは生涯続きます。学び方を学び，関わり方を修得して，学び続けながら社会に貢献できるプログラムを準備して，みなさんをお待ちしています。

地域創生学類 学類長
石内鉄平准教授

フィールドワークを通して，地域課題の解決をより実践的に学ぶ

MYU labs【研究室紹介】

高橋信人研究室

俯瞰的に地域風土を捉え，あるべき未来の姿を考える

環境地理学を専門として，過去から現在に至るまでの地域の自然・社会の変化と，それに対する人々の対応・反応を，俯瞰的視点から定量的に明らかにすることをめざします。地域課題の根本の問題，地域資源の発掘と再評価，環境問題や自然災害とどのように向き合うべきか。これらの個々の地域がもつ固有の課題に対する解決の指針を得るために，自然・社会を構成する諸要素の関連性に注目して地域の特徴を定量的に明らかにし，グラフや地図で表現するなどして可視化し，地域風土のあるべき姿を考察していきたいと考えています。

青木研究室

元気な地域企業が導く地域経済活性化モデルの探究

東北などの地方圏では中小企業で働く人の比率が圧倒的に高く，ローカルな中小企業（一般に地域企業と呼ばれています）が地域に与える経済的，社会的影響は非常に大きいといえます。他方，多くの地域企業では生産性向上や事業承継，人材育成といった課題を抱えています。青木研究室では，新商品・サービスの開発，生産管理，ICT 活用，人材育成といった個々の地域企業の経営について研究するだけではなく，地域創生の観点から企業と地域との関係性や，クラスターと呼ばれる異業種の企業間連携のあり方，効果的な地域産業政策や経営支援について探究します。

小原実紗さん
岩手県立盛岡第四高校出身

Student Voice

学びを実践し，自らが意欲的に学べる場所

地域創生学類の大きな魅力は，取り組みたい課題に対し，学びを実践できる場があることです。私は，若者の地域離れという課題に対するプロジェクトを行う中で，地域の大人と大学生が交流する場をつくり，講義で学んだフィールドワークやアンケート調査の手法を活かすことができました。

Classes【授業紹介】

グローカル共生論

地球規模の視野で地域づくりを考える

サスティナブルな社会の実現に向けて，異なる文化や価値観を理解し，地球規模の視野と地域の視点で問題を捉えることが必要です。グローカル時代の地域づくりを考えます。

社会起業論

ソーシャルアントレプレナーによる社会変革

社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスについて学びます。社会起業家のビジネスモデルやマインドセットを知り，テーマ別に課題解決策をみていきます。

都市計画

魅力ある暮らしやすい都市を目指して

都市のビジョンを考えるには，歴史や地理・文化・法律など多くの知識が必要となります。魅力ある暮らしやすい都市とは?という難問に対して，多様な観点から理解を深めます。

地域創生学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期
「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

全学共通科目

1年次 後期
専門基礎科目を学ぶ

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ
［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●事業プランニング基礎 ●地域創生基礎 ●価値創造デザイン基礎

学類配属の決定

2年次 前期
専門基礎・専門基幹・関連科目を学ぶ

社会の仕組みを理解し，人々の意識・行動特性を分析する手法を学ぶ

学類共通・専門基礎科目
［開講科目例］ ●データサイエンス ●応用統計学 ●地域学 ●地域実践演習

専門基幹科目
［開講科目例］ ●地域プロジェクトマネジメント ●行政学 ●地域調査法 ●国土・地域計画 ●公共経営 ●災害の科学（土）
●非営利経営論 ●地域資源論 ●ソーシャルビジネスプロデュース ●コミュニティビジネス ●ローカルベンチャー論
●コミュニティ・プランナー実践論 ●環境地理学 ●国際協力論 ●ボランティア論 ●評価論 ●防災計画

2年次 後期
ゼミ選択

3年次 前期
専門科目の学びを深める

学類共通・専門基礎科目
［開講科目例］ ●キャリアデザイン

3年次 後期
専門基幹科目
［開講科目例］ ●災害の科学（水） ●グローバル共生論 ●地域産業政策 ●地域環境政策 ●地域環境計測
●地理情報分析 ●ツーリズムデザイン ●景観工学 ●社会起業論 ●農業農村振興論 ●ソーシャル・キャピタル
●政策実証分析 ●地域復興デザイン ●レジリエンスとビジネス ●コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

4年次 前期
卒業研究

4年次 後期
科学的なアプローチで地域課題を明確にし，
都市・農村政策や協働のまちづくりを通して，地域活性化に貢献できる人材をめざす

卒業後の進路

- **総合職**
  観光／インフラ
  住宅・不動産／IT・通信等
- **公務員**
  国家／地方
- **進学**
  宮城大学大学院／他大学大学院
  海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

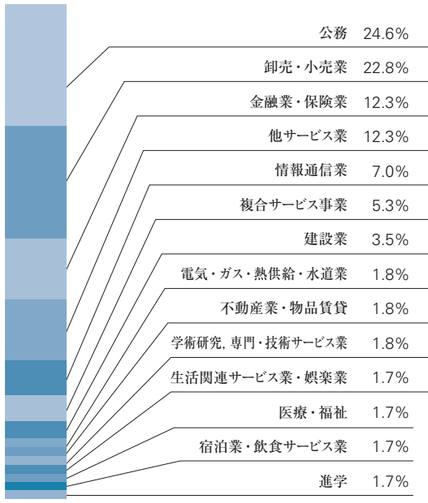
宮城・東北の魅力を掘り起こし 百貨店ならではの地域づくりを

株式会社藤崎 地域店舗営業部古川店
佐々木花帆さん（2022年3月卒業）

接客販売はもちろん，イベントの立案・計画・実行，SNSの発信などを担当しています。お客様から笑顔と感謝を頂けることにやりがいを感じています。在学中に受講したコミュニティ・プランナープログラムでは，地域フィールドワークやビジネスの現場で活躍する先輩と対話を経験することができ，その時の体験が現在の自分の大きな強みになっています。宮城大学には，自分がやりたいと思うことに対し，積極的に挑戦できる環境があります。自分にはないものを持っている仲間と一緒に，一人ではできないことに挑戦できるのが大きな魅力です。さらに先生方との距離の近さや，充実した大学内の設備もその挑戦を後押ししてくれます。これからも宮城・東北を代表する企業の一員として地域の良いものを発掘・発信し，百貨店だからこそできる地域の活性化に携わっていきたいです。

進路データ

進路データ



主な進路実績の一例（順不同）

公務	24.6%	国土交通省東北地方整備局/宮城県/宮城県警察本部/仙台市/富谷市/米沢市
卸売・小売業	22.8%	カメイ㈱/イオン東北㈱/㈱藤崎/㈱ヨークベニマル/三菱重工エンジンシステム㈱/三菱電機住環境システムズ㈱
金融業・保険業	12.3%	㈱七十七銀行/㈱岩手銀行/㈱青森銀行/宮城第一信用金庫/東北労働金庫
他サービス業	12.3%	日本年金機構 / 石巻商工会議所 / ㈱日立ビルシステムビジネスサポート
情報通信業	7.0%	㈱時事通信社 / 三菱総研 DCS ㈱ / ㈱ GSI
複合サービス事業	5.3%	みやぎ生活協同組合 /JA 福島さくら農業協同組合
建設業	3.5%	日本電設工業㈱ / セキスイハイム東北㈱
電気・ガス・熱供給・水道業	1.8%	東北電力㈱
不動産業・物品賃貸	1.8%	東急リバブル㈱
学術研究，専門・技術サービス業	1.8%	㈱土木管理総合試験所
生活関連サービス業・娯楽業	1.7%	㈱日本旅行東北
医療・福祉	1.7%	
宿泊業・飲食サービス業	1.7%	
進学	1.7%	

進路データは，2023年3月20日現在 小数点以下第2位を四捨五入

価値創造デザイン学類

Creating “New Value & Design” for the Society.

情報・環境デザインを通して，新しい価値をどう生み出していくか。

日々変化する社会環境を観察し，デザインが担う役割を学びながら，

多様な課題を解決へと導く論理的思考力と表現力を身につける

デザインの学びは実践にあり

中国の古典『韓非子』に「三人言いて虎を成す」という言葉があります。街に虎が出たという信じがたい話も，三人が口を揃えると本当のこととして伝わってしまう，伝聞を鵜呑みにすることを戒める言葉です。玉石混淆の情報に溢れた現代社会にこそ強く響く言葉だと思います。物事の本質を見極める方法は今も昔も変わりません。それは自分自身の知恵を使って考え，体験を通して感じることに他なりません。現代では情報技術によって「知恵」は広く共有できるようになりました。一方で，肉体的な体験はまだまだ一人ひとりの実際の経験に根ざしています。デザインの学びには，この知恵を体験として感じること，つまり実践が非常に大切です。自分で考え，それをカタチにしていく力こそが物事の本質を見抜く能力となり，本当の自由を手にする礎になるのです。

価値創造デザイン学類 学類長
土岐謙次教授

基礎理論からつくる技術，そして価値を生み出す実践力まで幅広く養う

1. 感性情報デザイン演習Ⅳ

ユーザーを意識した体験のデザイン

デジタル技術を用いたインタラクティブ作品の制作と学外での展示を通じて，デザインプロセスを統合的かつ実践的に学びます。

2. 生活環境デザイン演習ⅢA, ⅣA

実践で学ぶ，生活環境デザイン

生活環境に新たな価値をもたらすべく，建築空間の構想プロセスや表現技法などを学び，社会課題の解決に向けた実装に取り組みます。

3. 生活環境デザイン演習ⅢB, ⅣB

パラメトリックデザイン手法で椅子制作

宮城県登米市産の杉材を用いて，CNC 加工機を駆使し，木製椅子を制作します。

一級建築士受験のための指定科目に認定

価値創造デザイン学類のカリキュラムが一級建築士の科目としての認定を受けました。これにより，所定の単位を修得すると，一級・二級・木造建築士を受験できます。

1

2

3

山崎実莉さん
宮城県泉高校出身

Student Voice

充実した設備環境で「作ること」が身近に

歴史や技術などの講義での学びを通じて，自分の中に魅力的な新たな価値が増えていくことが，価値創造デザイン学類の大きな魅力のひとつです。デザインツールのほか，3D プリンタ・レーザーカッター・メディアシアターなど，充実した設備と環境で，「作ること」が身近になります。

制作設備・施設一覧

製図や模型製作が行える製図室／高性能 PC が整ったデザインラボ／レーザーカッターや 3D プリンタといったデジタルファブリケーション機器を備えたクリエイティブラボ／演習ではクリエイター向けソフト「Adobe Creative Cloud」や CAD が利用可能

蒔苗研究室

仮想世界から未来の情報環境を考える

コンピュータ上に創られた 3 次元仮想空間をバーチャルリアリティやデジタルゲームの技術を用いて体験したり，現実空間と仮想空間を融合させたシステムの構築を通して，デジタルツインの実現を目指した未来の情報環境のあり方を考えます。

土岐研究室

漆とテクノロジーで ものづくりの研究しています

土岐研究室では，手仕事に不可能な領域を現代技術で補い，または拡張し，これまで工芸分野で培われた技術をデジタル基盤を通じて異分野にも開放し，漆を中心としたものづくりを次世代に継承してゆくプラットフォーム作りを目指しています。

価値創造デザイン学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

全学共通科目

専門基礎科目を学ぶ

1年次 後期

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ

［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●事業プランニング基礎 ●地域創生基礎 ●価値創造デザイン基礎

学類配属の決定

コースを選択

感性情報デザインコース	生活環境デザインコース
人間感性と情報技術をつなぐメディア開発と，ものづくりの理論や技術を学ぶ	建築分野を中心に，生活環境に新たな付加価値をもたらす理論と技術を学ぶ

2年次 前期

専門基礎科目を学ぶ

人間の感性や認知特性等の基礎理論や，地域資源を活かしたデザイン原理を学ぶ

［開講科目例］ ●価値創造デザイン演習 ●情報と環境 ●色彩と形態 ●身体と認識

2年次 後期

専門科目を学ぶ

［開講科目例］ ●フィジカルコンピューティング ●ウェブプログラミング ●コンピュータアルゴリズム ●感性情報デザイン演習II

［開講科目例］ ●建築計画 ●生活環境工学 ●生活環境デザイン演習II ●建築一般構造

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

3年次 前期

共通基幹科目

［開講科目例］ ●インテリアデザイン ●感性デザイン評価法 ●価値創造デザイン特別演習I・II

ゼミ選択

3年次 後期

専門科目の学びを深める

［開講科目例］ ●インタフェースデザイン ●ウェブデザイン ●コンピュータグラフィクス ●情報構造と可視化 ●地区・街区計画 ●スマートシティ論 ●サステイナブルデザイン ●編集・広告デザイン ●人工知能とデザイン ●ファシリティマネジメント

4年次 前期

卒業研究

4年次 後期

人間の感性や地域の自然・文化などを汲みとり，
情報デザイン・環境デザインを通じて新たな価値を生むことができる人材をめざす

卒業後の進路

建設関連	情報通信関連	クリエイティブ関連	進学
意匠設計／施工管理 都市コンサルティング等	システム設計 アプリ開発等	UI/UX デザイン／ウェブデザイン グラフィックデザイン等	宮城大学大学院／他大学大学院 海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

「学ぶ」ことの自信が発想の幅を広げてくれる

Mariko Abe Design
建築家・空間デザイナー
阿部真理子さん（2009年3月卒業）

建築家・空間デザイナーとして，美術館での展覧会の会場デザインや店舗・住空間の設計などに携わっています。各プロジェクトに企画から参加し，それぞれの土地やテーマ，何百という人々と関わる事で自分自身も鍛えられる仕事です。その先で思いもよらない発想が生まれ，誰かの体験の一部をつくるという事に，やりがいを感じています。宮城大学には，建築学だけでなく，地に足のついたデザインの実践に触れられる特色があります。そして清々しい雰囲気に自由な魅力を感じていました。全く異なる専門分野が隣り合う環境で過ごす利点や，野心や意見ある人と成長できる期待もあり，デザイナーとしての独立のプロセスも，在学時から意識的に学び得ました。今後も空間デザインを軸に広い領域で社会に影響を与えられるよう，沢山のプロジェクトと向き合い，見る人に熱量と価値を伝えていきます。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

情報通信業	25.0%	富士ソフト㈱ / サイバーコム㈱ / データコム㈱ / ㈱メンバーズ / ㈱ソルブレイン / ㈱ステップ
建設業	19.4%	大和ハウス工業㈱ / 東建コーポレーション㈱ / ㈱ユアテック / セキスイハイム東北㈱ / 東北ミサワホーム㈱ / ㈱北洲
学術研究，専門・技術サービス業	11.1%	中央コンサルタンツ㈱ / ㈱マクロミル / ㈱ディーエムエス
製造業	8.3%	アイリスオーヤマ㈱ / ㈱イトーキ / 積水ホームテクノ㈱
他サービス業	8.3%	カルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱ / ㈱エイブル / JR 東日本東北総合サービス㈱
公務	5.5%	宮城県 / 東京都 / 仙台市
金融業，保険業	4.2%	㈱七十七銀行 / ㈱岩手銀行
教育，学習支援業	4.2%	国立大学法人東北大学 / ㈱仙台進学プラザ
卸売・小売業	4.2%	㈱ニトリ / ㈱第一興商
不動産業・物品賃貸	2.8%	㈱東急コミュニティー / ㈱プライムハウスホールディングス
運輸業，郵便業	2.8%	㈱丸山運送 / 野口倉庫㈱
複合サービス事業	1.4%	全国農業協同組合連合会
生活関連サービス業，娯楽業	1.4%	㈱ラウンドワン
進学	1.4%	宮城大学大学院事業構想学研究科

進路データは，2023年3月20日現在 小数点以下第2位を四捨五入

MYU SUPPORT FOR STUDENTS

学生のみなさんが安心して大学生活を送ることができるよう，様々なサポート体制を用意しています。

適切かつ円滑な入学者選抜を目指して
アドミッションセンター

本センターは，入試に関する調査・研究，入試制度の検討及び策定，適切な入試の実施，さらに入試実施後の分析や受験生への情報提供等を全学的に担当し，本学の教育研究の充実と発展に寄与することを目的として設置されています。

学術情報コンテンツの集積･発信から独自のソフト事業まで
学術情報センター（図書館）

図書や論文，視聴覚資料など学術資料の収集・提供を通じて本学の教育・研究・学修支援に取り組んでいます。学内の研究成果等を集積してデジタルアーカイブの構築も進め，学外に向けた情報発信にも力を入れています。

あらゆる面から学生を親身にサポート
スチューデントサービスセンター

学生のみなさんの大学生活，学修についての支援はもちろん，サークル活動の支援やアルバイトなど大学外についての支援も行っています。大学生として一人ひとりが自主的・積極的に学生生活を送っていくことを支援するセンターです。

学生に寄り添ったキャリア形成支援
キャリア・インターンシップセンター

「キャリア教育支援プログラム」，「インターンシッププログラム」，「専門の職員による進路相談及び就職支援」を柱に，1年次より4年間を通して学生のキャリア形成に向けた活動をサポートしています。

ココロとカラダの両面をサポート
健康支援室

学生が安心して充実した大学生活を送ることができるように，健康面からサポートします。体と心の健康についての疑問や悩みなどがありましたら，一人で抱え込まずに，健康支援室（保健室・学生相談室）へ気軽に相談にいらしてください。

あらゆるステークホルダーと共創し地域の発展に貢献
研究推進・地域未来共創センター

宮城大学の横断的な教育・研究の成果や知的財産を活用し，東北・宮城の様々な地域の資源や人材を新たな発想と視座から連携し，新たな研究開発や地域未来共創プロジェクトを推進し，持続可能な地域社会を実現していきます。

食産業学群

生物生産学類　入学定員62名
フードマネジメント学類　入学定員63名

入学者に求める能力

(1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち，自然科学の基礎知識を身につけている人
(2) 論理的に考える力を修得し，食の安全・安心，環境との調和などの課題解決に取り組みたい人
(3) 地域社会の一員として，さらには世界的な観点から食産業を考え，その発展に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

食産業学群では，食につながる生物生産とその供給から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い専門的知識と技術を持ち，食産業全体を理解し，地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

- 食品衛生監視員
  所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に取得可能
- 食品衛生管理者
  所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に取得可能
- HACCP管理者
  所定科目の単位取得により取得可能
- 食の6次産業化プロデューサー
  所定科目の単位取得により，「わかる（知識）」のレベル2として認定

「食産業学」は文系･理系の総合知

食産業学群の4年間で身につけていただきたいのは，「食」のさまざまな事柄について「調べ，考える力」です。これは行動の原動力です。私たちの「食」を支えているのは，原料である農畜水産物などの生物の生産，それを加工して流通させ，安全で健康的な消費を可能にする複雑なシステムです。このシステムが食産業であり，産業として持続的に機能させるには経済の仕組みや経営，食文化なども大きく関わってきます。このシステムを発展，進化させてゆく食産業学では自然科学分野や工学などの理系学問と社会科学などの文系学問の両方から総合的に取り組まなくてはなりません。食産業学の大きな特徴はここにあります。今後，食産業へのIoTや人工知能の組み込みがさらに加速しますが，人間にしかできない「調べ，考える力」を研究を通して得た最先端の知識を基にした授業や実験，実習を通して学びます。並行して行われる充実したキャリア教育によって卒業時には食産業で活躍する社会人としての実力と自信がつくと確信します。

食産業学群 学群長
井上達志教授

生物生産学類

入学者に求める能力

生物資源開発や生産環境技術，経営を通して，持続的な食料生産とその供給に強い関心を持ち，食産業の幅広い専門的知識と技術を身につけ，社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

地域の生物資源の高付加価値化や生産方法に関する知識・技術を養い，科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して，未来を開拓できる能力を育成します。

フードマネジメント学類

入学者に求める能力

食の製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて，サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ，社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

フードシステムの構築に必要なサイエンスとビジネスの両面の知識・技術を養い，科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して，未来を開拓できる能力を育成します。

生物生産学類

Committed to Bringing Innovations to the Farms of the Future.

今，“食”を支える農業は変革の時。バイオサイエンス，植物・動物・水圏生物の生産科学から
IoTやAIを活用する生産環境情報，生産ビジネスまで，食の生産を網羅する多様な分野を広く，深く学び，
生産のイノベーションで食の未来を創造する

分野横断的教育研究で挑む！未来の食料生産

世界的な人口増加に伴う需要の増大，地球規模の気候変動など，食料生産は多くの問題に直面しています。また国内では，大規模化，自動化など，生産方式が大きく変化しつつあります。2022年4月に誕生した“生物生産学類”では，6つの履修モデルを設定し，社会の変化に対応できる柔軟なカリキュラムを展開しています。最先端の基礎科学や情報技術，ビジネス分野の新しい科目をはじめ，食の生産に関する多様な科目を配置していますので，将来の進路に合わせて科目を選択して履修することで，生物生産に関する幅広い知識や技術を身につけることができます。生物生産学類で，持続可能な食料生産を考え，食の未来を切り拓いていきましょう。

生物生産学類 学類長
中村茂雄教授

座学に加え，実験・実習を通して体験することで，学びをより深める

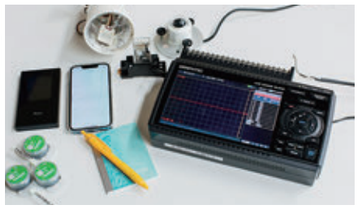
土壌肥科学
未来の土壌管理を考える基礎
環境と調和しながら土壌資源を最大限に活用する土壌管理と肥料について学びます。

動物生殖学
動物が子孫を増やすためのしくみ
新しい生命を生み出すためのしくみを，ホルモンや遺伝子発現など分子レベルで学びます。

アグリビジネス論
農業関連産業について学ぶ
国内全産業の1割を占めるアグリビジネスの特徴と機能，課題について学びます。

水産増殖学
持続的水産業に必須な知識の習得
水圏生物資源の持続的な維持･生産に向けた様々な考え方や研究手法を学びます。

植物機能開発実験実習
ゲノム情報に基づいた品種改良を学ぶ
遺伝子についての基礎知識と共に，DNAの塩基配列に基づいた品種改良技術を学びます。



生産環境情報学実験実習
生産現場の情報を可視化する
生産環境の課題解決に必要な温室や屋外でのデータ取得と可視化について学びます。

廣林奈恵さん
埼玉県星野高校出身

Student Voice

多面的な講義とフィールドワークで独自の視点と思考力を

動植物の生産プロセスをはじめ，生物多様性の保全と自然共生など，多面的な講義が魅力です。さらにフィールドワークでは，講義での学びと地域を融合させ，生物生産学類ならではの視点と思考力を鍛えることができます。研究を通し，動物たちと触れあいながら実験に勤しむ日々です。

取得できる資格

食品衛生監視員
食品衛生管理者
HACCP管理者
食の6次産業化プロデューサー

所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に上記の資格が取得できる予定です。

生物化学工学研究室
バイオマスからエネルギーや化学製品を生産
SDGsやカーボンニュートラルの達成に向けて，再生可能な資源であるバイオマスの利活用が注目されています。本研究室では，酵素や微生物を使って，バイオマスからバイオエタノールやバイオマスプラスチックなどを作るプロセスについて研究を進めています。

水圏資源植物科学研究室
生物学研究により持続的な海藻養殖を目指す
宮城県で盛んなノリ，ワカメ，コンブ，アオノリの養殖業における生産量は，地球温暖化に伴う海水温上昇によって大きく減少しています。本研究室では，海藻が持つ環境耐性能とその応用について生物学研究を推進し，地球温暖化に耐え得る持続的な海藻養殖業の構築に貢献します。

Curriculum【4年間の学び】

生物生産学類：4年間の学び

1年次 前期

【専門基礎科目】
食産業学の基礎を学び，生産や加工の基本を理解する
［開講科目例］●食材生産概論 ●科学基礎実験

【基盤教育科目】
「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
大学での学びに必要な基礎的なスキルを身につける
［開講科目例］●スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ ●地域フィールドワーク ●食と社会

1年次 後期

学類配属の決定

2年次 前期

6つの履修モデルから1つの履修モデルを選択し，専門科目の学びを開始
生産に関わるあらゆる分野の基礎を総合的に学ぶ

【専門基礎科目】
［開講科目例］
●応用統計学
●地域食産業論
●専門基礎実験

自らの進路に向けて専門科目を選択し，履修モデルを設計
［開講科目例］

生産ビジネス	植物生産	動物生産
●農業経済学 ●アグリビジネス論	●植物生理学 ●植物生産実験実習Ⅰ・Ⅱ	●動物生殖学 ●動物生産基礎実験
水圏生物生産	**生産環境情報**	**バイオサイエンス**
●水棲動物学 ●水棲植物学	●生産環境保全学 ●アグロテクノロジー	●発生遺伝学 ●分子生物学

【基盤教育科目】
［開講科目例］
●基礎統計学Ⅱ
●University English

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］●食品企業経営論 ●フードサービス産業論

2年次 後期 / 3年次 前期

将来像を見据えて科目を選択し，座学と実験実習を通して分野横断的に深く学ぶ
［開講科目例］分野を横断しながら柔軟に科目を履修する

研究室選択

生産ビジネス	植物生産	動物生産
●生物資源経済学 ●食材生産経営戦略論 ●農業経営経済学演習	●露地園芸学 ●暮らしと作物 ●植物機能開発実験実習	●乳と卵の生産科学 ●動物生産管理学 ●動物性食材生産実験実習
水圏生物生産	**生産環境情報**	**バイオサイエンス**
●水産増殖学 ●水産資源生態学 ●水産生物学実験実習	●生産環境情報学 ●プログラミング基礎 ●生産環境情報学実験実習	●環境科学 ●生理学 ●環境微生物工学

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］●栄養科学 ●食産業政策論 ●食感性科学 ●食品の安全性管理

3年次 後期 / 4年次 前期

卒業研究を中心に実践的な課題解決に自ら取り組む
［開講科目例］●卒業研究Ⅰ

4年次 後期

卒業研究を完遂し，卒業研究発表会で発表する＝4年間の学びの集大成
［開講科目例］●卒業研究Ⅱ

卒業後の進路

商社の農畜水産物バイヤー
農業IT企業のスマート農業技術職
乳・肉加工メーカーの商品開発職
水産企業の技術職や営業職
公的研究機関の技術職
進学

Graduates【卒業生の活躍】

社会で活躍する卒業生

業界を革新するアイデアで施設園芸を盛り上げたい

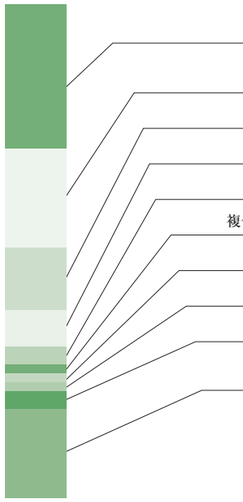
株式会社誠和
末永智大さん（2017年3月卒業）

在学中から興味のあった施設園芸関連の企業に入社し，農業用ハウス内の資材営業を担当しています。生産者から直接「本当に購入して良かった」と喜びの言葉を頂けることが嬉しいです。また，栽培の現場に立ち会い，その空気を直接肌で感じられることにもやりがいを感じています。宮城大学には幅広い授業があり，作物がどのように食品に変わるのかまで一気通貫で学ぶことができました。普段から見学や実習の機会が多いことも貴重でした。また，先生との距離が近く相談しやすい雰囲気なので，ゼミでは納得のいく研究を行うことができました。在学中の学びの多くが，今の仕事に直結しています。今後の目標は，日本の施設園芸を盛り上げ，発展させていくことです。天候に左右されない施設園芸の利点を生かし，業界を改革するような装置選びや装置の使い方を提案したいと考えています。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）



卸売・小売業	29.1%	UCC コーヒープロフェッショナル株式会社 / 加藤産業株式会社 / 株式会社ケーエス / 佐藤株式会社 / 株式会社日本アクセス / 株式会社ヨークベニマル / 株式会社ヤマザワ
製造業	20.0%	株式会社ウェルファムフーズ / 株式会社菓匠三全 / キーコーヒー株式会社 / 株式会社全農・キユーピー・エツグステーション / 日本農薬株式会社 / 日本食研ホールディングス株式会社
公務	12.7%	農林水産省 / 厚生労働省 / 岩手県 / 石川県 / 登米市 / 独立行政法人農林水産消費安全技術センター
情報通信業	7.3%	株式会社ジェイマックソフト / 株式会社シルフィード / 日本システム・エイト株式会社
農業，林業	3.7%	株式会社サカタのタネ / 株式会社渡辺採種場
複合サービス事業	1.8%	宮城県漁業協同組合
医療，福祉	1.8%	日本年金機構
建設業	1.8%	株式会社ピーエス三菱
その他	3.6%	
進学	18.2%	宮城大学大学院食産業学研究科 / 千葉大学大学院園芸学研究科 / 東京大学大学院農学生命科学研究科 / 東北大学大学院農学研究科

進路データは，2023年3月24日現在 小数点以下第2位を四捨五入

フードマネジメント学類

Food Research and Studies Will Take You into the Body and around the World.

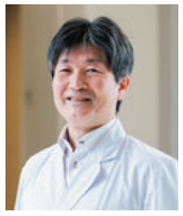
食は身体を作るだけでなく，時として世界を動かす。

最先端のサイエンスとビジネスの視点から

食に関わる問題を徹底的に追及する

栄養から社会まで，「食」のすべてを語れるスペシャリストに

「食との関係」と聞いて何を思い浮かべますか？我々が口にする食材は世界中で生まれ，運ばれ，調理され，生きる糧となります。一口に食と言ってもとても広い分野が関わります。フードマネジメント学類では「文理融合」を掲げ，食に関わる科学技術から社会現象に至るまで広く学ぶことができます。1年次では基礎を，学年が上がるに伴い「食品製造・加工」「食品開発」「食の安全・安心」「食品流通・サービス」の４つの履修モデルに基づき専門性の高い科目を学びますが，モデルを超えた履修も可能です。４年次には集大成としての卒業研究に取り組み，学類全員参加の発表会では活発な質疑応答が行われます。また授業や課外活動の一環として県内外の企業と清酒やお土産品などの商品開発も行っており，実践的な学びを得ることもできます。



フードマネジメント学類 学類長
毛利哲教授

マーケットのわかる技術者，技術のわかるマーケッターを育てる

1. 食品衛生学実験

「食」の安全サイエンス

食成分の機器分析や食中毒菌のDNA検査など，目で見て，やってみて，よく考えて，食の安全を体で感じる科目です。

2. 食文化論

地域の「食べ物語」の再発見

歴史という縦軸，地域という横軸にもとづいて，各地の食文化の特質を理解し，これからの食文化の継承や振興のあり方について考えます。

3. 食品流通論

食品の流通を体系的に学ぶ

豊かな食生活を支える食品流通の土台となる基礎的知識や多様化する現代の食品流通の実態について，様々な角度から学びます。

4. 食品栄養・機能学実験

機能性成分の働きを実験から学ぶ

グループワークと動物実験を通して，健康維持・増進や疾病予防に役立つ栄養素・機能性成分の働きについて理解を深めます。

久保汐織さん
宮城第一高校出身

Student Voice

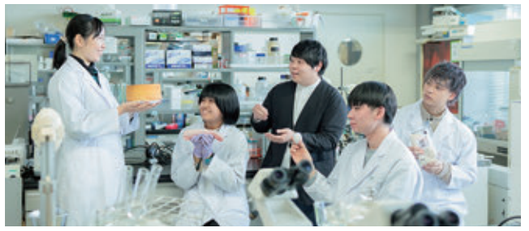
「食」を多角的に捉えるスペシャリストを目指して

食品の製造から消費までを広く深く学べ，専門的知識と技術を兼ね備えた食のスペシャリストとして，社会の即戦力となる自信が生まれます。特に企業の実践的な話が聞ける点は，将来食品の安全を守る仕事に就きたいと考えている私にとって，新たな視点を得ることができる大きな機会です。

取得できる資格

食品衛生監視員
食品衛生管理者
HACCP管理者
食の６次産業化プロデューサー

所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に上記の資格が取得できる予定です。



食品タンパク質機能学研究室

おいしさと健康機能性を最大限引出すために

卵や肉に含まれるタンパク質の嗜好機能（おいしさ）と健康機能を調べています。調理・加工，及び咀嚼から吸収の過程で，タンパク質の構造と機能がどのように変化しているのかを調べ，おいしさと健康機能性を最大限引出す方法を明らかにしています。

フードサービス論研究室

複数の視点からフードサービスを考える

レストランなどの外食産業や，コンビニエンスストアの弁当や宅配ピザといった中食産業について，経営や歴史，文化，食材生産者との関わりなど，多彩な観点から研究しています。理論だけでなく，経営者の思い，現場での工夫や課題などを直接聞いたり，店舗や商品の分析したりと，理論と実践を行き来して学びます。

Curriculum【4年間の学び】

フードマネジメント学類：4年間の学び

1年次 前期

【専門基礎科目】
食産業学の基礎を学び，製造・加工やビジネスの基本を理解する
［開講科目例］ ●科学基礎実験 ●経済経営学基礎

【基盤教育科目】
「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
大学での学びに必要な基礎的なスキルを身につける
［開講科目例］ ●スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ ●地域フィールドワーク ●食と社会

1年次 後期

学類配属の決定

2年次 前期

自分の関心や目的に応じて専門基礎科目や専門科目を柔軟に選択し，
理論と実験実習を通してフードマネジメント全体の基礎的分野を身につける

【専門基礎科目】
［開講科目例］
●食品マーケティング基礎
●地域食産業論
●分析基礎実験

【専門科目】
［開講科目例］ビジネスとサイエンスの両分野について履修する

●食料経済論	●食品衛生学実験	●有機化学	●農産食品学
●食品企業経営論	●フードサービス産業論	●生化学	●食品化学
●食品企業組織論	●食品流通論	●食品貯蔵・流通技術論	●食品工学

【基盤教育科目】
［開講科目例］
●基礎統計学Ⅱ
●University English

2年次 後期

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］ ●食用作物学 ●アグロテクノロジー

3年次 前期

4つの履修モデルを参考に自分で専門科目を選択し，学びを自分向けにカスタマイズ
フードマネジメントの専門分野をより深く学ぶ

［開講科目例］ビジネスとサイエンスの両分野について履修する

研究室選択

食品製造・加工モデル	食品開発モデル	食の安全・安心モデル	食品流通・サービスモデル
●食品化学工学	●食品機能開発学	●食産業政策論	●食品マーケティング論
●発酵食品・醸造学	●ライフステージ栄養学	●食品情報科学論	●フードサービス事業運営論
●微生物学実験	●食品栄養・機能学実験	●食品の安全性管理	●食品企業経営戦略論
●品質保証システム演習	●フードシステム調査演習	●栄養科学	●食品経済・政策論演習

3年次 後期

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］ ●乳と卵の生産科学 ●暮らしと作物 ●水産増殖学 ●環境科学

4年次 前期

ゼミでの卒業研究を中心に実践的な課題解決に自ら取り組む
［開講科目例］ ●卒業研究Ⅰ

4年次 後期

卒業研究を完遂し，卒業研究発表会で発表する＝4年間の学びの集大成
［開講科目例］ ●卒業研究Ⅱ ●食と未来

卒業後の進路

食品製造業，食品流通業およびフードサービス産業における	食品製造業や外食産業などで新商品の企画や開発を行う	食品リサイクル，食品ロス，SDGsなどについて取り組む	食品製造業，食品流通業およびフードサービスで活躍する	進学
技術・製造開発者	技術者・プランナー	ビジネスリーダー	ビジネスリーダー	

Graduates【卒業生の活躍】

社会で活躍する卒業生

大学で培った知識を土台に伝統の日本酒製造技術を磨く

浦霞醸造元 株式会社佐浦
製造本部 本社蔵製造課
菅井竹彦さん（2016年3月修了）

創業約300年の酒屋で日本酒の製造業務に携わり，もろみと酒母の仕込みを担当しています。「酒造りは毎年が一年生」という言葉がありますが，日本酒製造に使う原料米は，品種や生産年度によって特性が異なり，それを見極めながら酒造りを進める必要があります。臨機応変に仕事に取り組む中で，日々新しい発見に出会えることにやりがいを感じます。宮城大学には幅広い分野の先生方が在籍しており，食品製造技術・商品開発・マーケティングなど，食産業を文理両軸で学ぶことができました。専攻した発酵化学の知識は，日本酒製造に必要な発酵や衛生管理の分野に大いに生かされています。食品工場の必須知識である衛生管理手法HACCPも学ぶことができました。今後も伝統を大事にしながらも，自分なりの感性で日本酒製造の技術を磨いていきたいです。

進路データ

進路データ		主な進路実績の一例（順不同）
製造業	35.9%	伊藤ハムデイリー株式会社 / 株式会社菓匠三全 / 白石食品工業株式会社 / 太子食品工業株式会社 / 日東ベスト株式会社 / 日本食研ホールディングス株式会社 / 株式会社ブルボン / マリンフーズ株式会社 / 株式会社マルハニチロリテールサービス / 株式会社ヤヨイサンフーズ
卸売・小売業	17.2%	株式会社おてんとさん / 株式会社高速 / 国分東北株式会社 / 株式会社日本アクセス / 株式会社バンセ / 東日本フード株式会社 / 三井食品株式会社
複合サービス事業	6.3%	常総ひかり農業協同組合 / 全国農業協同組合連合会新潟県本部 / 全国農業協同組合連合会宮城県本部
宿泊業，飲食サービス業	6.3%	株式会社アレフ / 一冨士フードサービス株式会社 / 株式会社柿安本店
金融業，保険業	6.2%	株式会社七十七銀行 / 株式会社岩手銀行 / 株式会社東邦銀行
公務	4.7%	青森県 / 釧路市 / 仙台市
情報通信業	4.7%	株式会社SHIFT/ 匠ソリューションズ株式会社
学術研究，専門・技術サービス業	3.1%	一般財団法人日本食品分析センター
他サービス業	3.1%	宮城県商工会連合会
その他	1.6%	
進学	10.9%	宮城大学大学院食産業学研究科 / 静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府

進路データは，2023年3月24日現在 小数点以下第2位を四捨五入

国際交流・海外ネットワーク

PUSH, PULL, and GROW.

国際交流は，①学生を海外の多文化空間に（PUSH），②留学生・多文化空間を宮城大学に（PULL），そして，③海外だけでなく日本のキャンパスでも多文化理解力を醸成する（GROW），これらをコンセプトに学生が教職員とともに「ワクワク感」をもってグローバル・ステージで活躍できるよう国際交流を進めています。このように，宮城大学では，協定校をはじめとした海外留学，海外からの留学生の受け入れ，キャンパス内に設置したグローバルコモンズでの多文化交流などを通して，１年中「グローバル」を体験することができます。

宮城大学の海外ネットワーク 2023年3月時点

主な国際交流・海外学修プログラム

宮城大学海外交換留学支援プログラム

アーカンソー大学フォートスミス校（米国）やトゥルク応用科学大学（フィンランド）など海外協定校において，１学期もしくは１年程度，原則として本学での専攻を生かした教育プログラムを履修することができます。英語によるコミュニケーションスキルの向上のみならず，現地の文化や習慣，専攻分野での知見を深めることにより，将来グローバル・ステージで活躍できる有能な人的資源として必要な能力を獲得することを目指します。

リアル・アジア

マレーシア，オーストラリア等で約２週間，協定校大学などにおいて，英語・文化研修を実施するほか，現地企業 / 組織訪問を行います。単なる英会話ではなく，英語を通して現地の社会経済状況を学修し，PBL（問題解決型学習）の手法も活用しながら実践的なプログラムを構築しています。この短期研修を体験することで，社会でも通用する積極性や協調性，グローバルコミュニケーション能力などを養います。

大学院 Graduate School

学びをさらに深め，高度な研究能力を養う充実した環境があります。

	看護学研究科	事業構想学研究科	食産業学研究科
博士前期課程	看護学専攻 基盤看護学分野 成熟期看護学分野 次世代育成看護学分野 広域看護学分野	事業構想学専攻 ビジネスデザイン領域 ソーシャルデザイン領域 空間デザイン領域 情報デザイン領域	食産業学専攻 食品イノベーション領域 食品ビジネスマネジメント分野／食品技術開発分野 農・環境イノベーション領域 生物生産分野／生産環境分野
博士後期課程	看護学専攻 生涯健康支援看護学分野	事業構想学専攻 ビジネスデザイン系 ソーシャルデザイン系 空間デザイン系 情報デザイン系	食産業学専攻 食品研究領域 農・環境研究領域

学生数

学群	学類	1年	2年	3年	4年	合計
看護学群	看護学類	105	101	105	99	410
事業構想学群	学類未配属者	175				175
	事業プランニング学類	10	66	66	66	208
	地域創生学類	12	63	61	65	201
	価値創造デザイン学類	16	91	83	85	275
食産業学群	学類未配属者	115				115
	食資源開発学類	1	71	63	60	195
	フードマネジメント学類	14	68	66	69	217
	生物生産学類	13				13
					合計	1,809

大学院	課程	1年	2年	3年	合計
看護学研究科	博士前期課程	8	4	–	12
	博士後期課程	1	1	2	4
事業構想学研究科	博士前期課程	8	14	–	22
	博士後期課程	3	3	4	10
食産業学研究科	博士前期課程	17	13	–	30
	博士後期課程	1	4	1	6
				合計	84

※2022年度学校基本調査から学群生・大学院生を抜粋

入学金・学費・奨学金 学費・入学時における学生諸経費（2022年度実績）

入学金	県内出身者	282,000円
	県外出身者	564,000円
入学時学生諸経費	看護学群	71,315円
	事業構想学群	50,660円
	食産業学群	50,660円
	※研究科(保険料のみ)	2,430円～13,500円
授業料	年額	535,800円 （前期・後期，半額ずつ納付）
	納付時期※	［前期］ 4月30日（2022年度は8月31日） ［後期］ 10月31日（2022年度は12月24日）

授業料の減免等制度（2022年度時点）

減免（本学独自制度）	一定基準以上の成績及び経済的要件を満たす場合，申請により，全額又は半額免除される場合があります。なお，申請条件を設けておりますので，すべての学生が対象とはなりません。
分割納付	経済的理由で授業料の一括納付が困難な場合，申請により，分割納付を認める場合があります。
納付猶予	経済的理由で授業料を指定納期までに納付することが困難な場合，申請により，納付猶予を認める場合があります。

宮城大学は，高等教育の修学支援新制度の対象校です。
【高等教育の修学支援新制度：https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm】

奨学金制度（独立行政法人日本学生支援機構奨学金）

独立行政法人日本学生支援機構奨学金

高校等での予約採用以外は，毎年４月に説明会を行い，奨学生を募集します。貸与金額等の詳細は，日本学生支援機構Webサイトをご確認ください。

日本学生支援機構Webサイト
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html
※貸与期間：採用年度から標準修業年まで。

その他の奨学金

各種団体等の奨学金は，随時学内掲示板等でお知らせします。

大和キャンパス

大和キャンパスは，自然と共生し，地域に開かれた大学としてデザインされました。人が自然とふれあう泉パークタウンと，県内有数の工業エリアである大和リサーチパークに隣接しています。近隣には，県立図書館や産業技術総合センターなどの施設もあり，研究に最適な環境です。

①本部棟　②ブリッジ棟　③エントランス広場　④交流棟　⑤体育館　⑥サークル室棟　⑦材料実験棟　⑧グラウンド　⑨北側駐車場　⑩デザイン研究棟

太白キャンパス

太白キャンパスは，太白山山麓の住宅街に位置し，学内農場である旗立農場を擁する自然豊かなキャンパスです。
近隣の附属坪沼農場を含めた個性豊かな教育施設群の中で，様々な視点から「食」を学ぶことができます。

①体育館　②テニスコート　③レストラン棟　④南サークル棟　⑤北サークル棟　⑥動物代謝棟　⑦動物実験棟　⑧駐車場　⑨管理棟　⑩学生会館メモリアルホール40
⑪多目的ホール　⑫講義棟　⑬ガラス温室　⑭グラウンド　⑮実験棟　⑯南研究棟　⑰北研究棟　⑱食品加工棟　⑲水利実験棟　⑳リサイクル棟　㉑材料実験棟　㉒水産実験棟

OPEN CAMPUS 2023

MYU OPEN CAMPUS 2023

7/23 SUN 太白キャンパス 食産業学群

7/30 SUN 大和キャンパス 看護学群・事業構想学群

※日程や開催方法に変更がある場合，本学Webサイトでお知らせします。追加コンテンツも順次公開していきます。

大和キャンパス

大学本部／看護学群／事業構想学群
大学院看護学研究科／大学院事業構想学研究科

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1
宮城大学事務局（大学全般）Tel 022-377-8205（代表）Fax 022-377-8282

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約 15 分，「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「泉中央駅」バスプール 3 番又は 6 番から，宮城交通バス
「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）で約 30 分～ 35 分，
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

「仙台駅前」バスプール 2 番から，宮城交通バス「宮城大学」行き約 50 分，
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

太白キャンパス

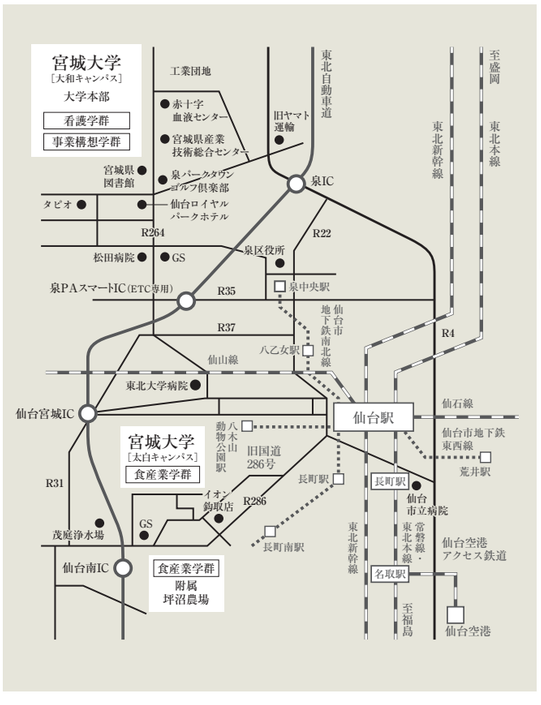
食産業学群／大学院食産業学研究科

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目 2 番 1 号
宮城大学事務局（太白事務室）Tel 022-245-2211（代表）Fax 022-245-1534

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約 10 分，「長町南駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「長町南駅・太白区役所前」バスプール 4 番から，宮城交通バス「日本平」行き
又は「仙台南ニュータウン」行きで約 20 分，「宮城大学太白キャンパス前」下車

「仙台駅前」バスプール 7 番から，宮城交通バス「日本平」行き
又は「仙台南ニュータウン」行きで約 40 分，「宮城大学太白キャンパス前」下車



Routes to Campuses［アクセス］

宮城大学 大学案内 2024
企画・編集：宮城大学 広報ワーキンググループ／デザイン：株式会社フロット
撮影：渡辺然・布施果歩（Strobelight），佐藤早苗，土田有里子
印刷：田宮印刷株式会社

GOOD DESIGN AWARD 2021
宮城大学大学案内「MYU GUIDE」を含めた，「宮城大学広報ツールのトータルデザイン」は，2021 年度グッドデザイン賞を受賞しました。

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY